

「市民による市政評価」

(18年度施策・事業に対する第1次評価)

結果報告書

平成18年12月

企画部総合政策課

目 次

I	調査の概要	-----	1
	1. 調査の目的	-----	1
	2. 調査の方法	-----	1
	3. 回収の状況	-----	1
II	結果の分析方法	-----	2
	1. 集計方法について	-----	2
	2. 満足度、有効性の判定について	-----	2
III	評価の結果	-----	4
	1. 「市民による市政評価」の結果	-----	4
	2. 年齢別、地域別の状況及び記述意見	-----	2 6
	【1】現状の満足度について	-----	2 6
	【2】事業別の有効性について	-----	3 7
IV	まとめ	-----	6 3
	1. 現状の満足度について	-----	6 3
	2. 事業別の有効性について	-----	6 6
	3. 今後の活用について	-----	6 7

I. 調査の概要

1. 調査の目的

施策が市民の日常的な問題意識に合致しているかを検証し、またその結果を今後の事業遂行に反映させることを目的とし、各分野における「市民の現状に対する満足度」と本年度の主要事業（新規含む）のうちから26の事業について、「事業の有効性（期待度）」に対する市民評価を行ないました。

2. 調査の方法

- (1) 調査の対象 20歳から74歳までの市民1,000人
- (2) 抽出方法 無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送アンケート（原則、記名回答）
- (4) 調査時期 平成18年8月22日（発送）～9月30日（回収期限）
- (5) 二次調査 記名回答者（391人）に対し、翌年度に二次評価を実施

3. 回収の状況

1,000人への発送に対し回収数は427人であり、回収率は42.7%でありました。なお、地域別、年代別の状況は次の表のとなります。

(表1) 地域別の回収状況

		発送数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
全 体		1,000	427	42.7
内 訳	1. 大曲	410	163	39.8
	2. 神岡	62	28	45.2
	3. 西仙北	110	44	40.0
	4. 中仙	118	47	39.8
	5. 協和	88	47	53.4
	6. 南外	47	23	48.9
	7. 仙北	86	40	46.5
	8. 太田	79	32	40.5
	0. 無記入		3	

(表2) 年代別の回収状況

		発送数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
全 体		1,000	427	42.7
内 訳	1. 20代	142	35	24.6
	2. 30代	145	50	34.5
	3. 40代	181	66	36.5
	4. 50代	235	110	46.8
	5. 60代	185	101	54.6
	6. 70代	112	59	52.7
	0. 無記入		6	

Ⅱ. 結果の分析方法

1. 集計方法について

本調査の目的は、

- (1) 各分野に対する市民の満足度、各事業に対する市民から見た有効性を判定すること
- (2) その判定をもとに改善を図ること

であります。

回収した調査票は、「満足」「やや満足」等のそれぞれの選択肢を選択した人数について、回答者全体、年代別、地域別の3通りの方法で集計しました。

上記(1)のためには、より分かりやすい満足度(期待度)の表示が必要であり、そのため、回答者全体の集計による加重平均を利用しました。

また(2)のためには、それぞれの事業について、

- ①年代別の肯定的評価、否定的評価の割合
- ②地区別の肯定的評価、否定的評価の割合
- ③自由記載欄に記述された内容

をもとに、評価の傾向を調査することとしました。なお、肯定的評価とは、「満足(有効)」「やや満足(やや有効)」を選択した場合を指し、否定的評価とは、「あまり満足でない(あまり有効でない)」「満足でない(有効でない)」「事業内容が分からない」を選択した場合を指します。

2. 満足度、有効性の判定について

「市民による市政評価」のそれぞれの選択肢に重みを付け、その選択肢の回答者人数により加重平均を行い、満足度、有効性を4区分に分けたアルファベットで表記します。

(1) 選択肢の重み

有効(満足)	5点
やや有効(やや満足)	4点
どちらでもない	3点
あまり有効でない(あまり満足でない)	2点
有効でない(満足でない)	1点
事業内容が分からない	2点

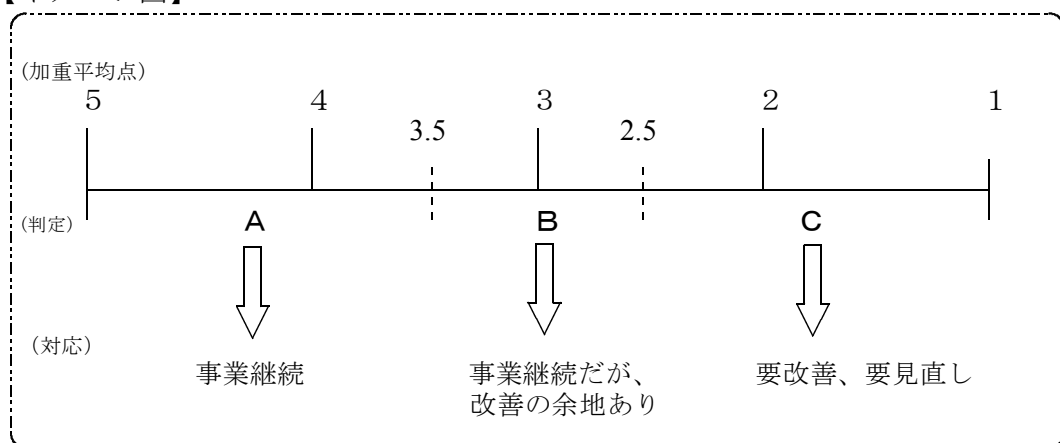
(2) 算式

$$\begin{aligned} \text{加重平均点} = & \left[\frac{\text{「有効」を選択した人数} \times 5 \text{点} + \text{「やや有効」を選択した人数} \times 4 \text{点} \right. \\ & + \text{「どちらでもない」を選択した人数} \times 3 \text{点} + \text{「あまり有効でない」を選択した人数} \times 2 \text{点} \\ & \left. + \text{「有効でない」を選択した人数} \times 1 \text{点} + \text{「事業内容がわからない」を選択した人数} \times 2 \text{点} \right] \\ & \div (\text{総回答者数} - \text{未記入者数}) \quad (\text{小数点以下3位まで}) \end{aligned}$$

(3) 満足度、期待度の判定とそれに対する対応

加重平均点の範囲	判定	判定に対する対応
$5.000 \geq \text{加重平均点} > 3.500$	A	事業を継続します
$3.500 \geq \text{加重平均点} > 2.500$	B	基本的に継続だが、改善の余地があります
$2.500 \geq \text{加重平均点} \geq 1.000$	C	改善が必要、又は事業の再構築を含め見直しが必要

【イメージ図】



Ⅲ. 評価の結果

1. 「市民による市政評価」の結果

施策の目的	市の取り組み		
1. 安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める	<p>○市の取り組み状況について</p> <p>妊婦検診や乳幼児検診の充実、子育て支援センターの設置、育児相談、保育の実施、児童館や児童遊園など安全な遊び場の提供に努めています。</p> <p>また、児童の健全育成のため放課後児童クラブを実施しています。</p> <p>加えて、福祉医療制度の拡大や小学生の医療費無料化、1歳児までを対象とするすこやか子育て手当金の支給等、子どもが健やかに成長できる環境づくりを進めています。</p>		
○本年度は、以下のような取り組みを行っています。			
子育ての経済負担を軽くする	1-1	<p>乳幼児、就学児(小児)医療費市独自助成事業 (事業費 151,224千円)</p> <p>市では県の福祉医療制度を拡大し、0歳から小学生までを対象に全額を助成しています。</p> <p>厳しい財政事情ですが、この制度を今後も継続していくため、高所得世帯者に市独自の所得制限を導入します。</p>	市民生活部 国保年金課
	1-2	<p>すこやか子育て手当金支給事業 (事業費 128,700千円)</p> <p>県では0歳児を対象に所得制限を設けて実施していますが、市では1歳児まで制度を拡大して支援しています。</p> <p>厳しい財政事情ですが、この制度を今後も継続していくため、福祉医療費受給者証を有する者の保護者に対し支給します。</p>	健康福祉部 児童家庭課
児童の保護と健全育成を図る	1-3	<p>地域児童健全育成推進事業 (事業費 54,185千円)</p> <p>日中、両親が家庭にいない児童を対象として、放課後児童クラブを13か所に設置しています。</p> <p>18年度は、新たに大曲地域に1か所増設と太田地域に1か所新設します。19年度は南外地域にも設置を予定しています。</p>	健康福祉部 児童家庭課

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	81	179	95	35	11	26	427
構成比	19.0	41.9	22.2	8.2	2.6	6.1	100.0

加重平均点
3.708

判定
A

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	149	160	56	26	11	18	7	427
構成比	34.9	37.5	13.1	6.1	2.6	4.2	1.6	100.0

加重平均点
3.933

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	151	171	59	17	7	17	5	427
構成比	35.4	40.0	13.8	4.0	1.6	4.0	1.2	100.0

加重平均点
4.007

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	184	139	57	20	6	16	5	427
構成比	43.1	32.6	13.3	4.7	1.4	3.7	1.2	100.0

加重平均点
4.088

判定
A

施策の目的	市の取り組み		
1. 安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める	<p>○市の取り組み状況について</p> <p>一人暮らし高齢者のための「ふれあい安心電話」、食材等の買い物などの生活支援や配食サービス、デイサービスほか各種の介護予防事業を行っています。</p> <p>また、老人クラブへの助成、特別養護老人ホーム・老人保健施設等の運営や社会福祉法人への建設助成、その他様々な高齢者福祉施策により、安心して長寿社会を過ごすことができる環境づくりを進めています。</p>		
	○本年度は、以下のような取り組みを行っています。		
	市民の長寿を祝うとともに敬老式を開催して敬老思想の普及を図る	<p>1-4 敬老の日事業 (事業費 83,245千円)</p> <p>長寿祝いの年齢である77歳、80歳、88歳、99歳等の高齢者に祝い金を支給します。100歳の高齢者には、誕生日に50万円（施設入所者には25万円）を支給します。</p> <p>また、対象者を75歳以上の高齢者に統一して、各地域や地区ごとに敬老会を実施します。</p>	健康福祉部 援護福祉課
高齢者の健康衛生保持と温泉入浴を促進する	<p>1-5 温泉ふれあい入浴サービス事業 (事業費 34,800千円)</p> <p>市内の公共温泉施設利用時に、70歳以上の高齢者等に対し年齢に応じて、入浴料の割引もしくは無料券を年間24枚交付します。</p>	健康福祉部 援護福祉課	

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	89	196	92	37	7	6	427
構成比	20.8	45.9	21.5	8.7	1.6	1.4	99.9

加重平均点
3.767

判定
A

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	129	137	91	35	17	11	7	427
構成比	30.2	32.1	21.3	8.2	4.0	2.6	1.6	100.0

加重平均点
3.750

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	113	118	83	60	42	5	6	427
構成比	26.5	27.6	19.4	14.1	9.8	1.2	1.4	100.0

加重平均点
3.463

判定
B

施策の目的	市の取り組み		
<p>2. 未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくりを進める</p>	<p>○市の取り組み状況について</p> <p>校舎の改築や改修、学習用備品の整備、また、総合学習や体験学習の支援など、子どもたちが安全に効果的に学習するための環境整備と心豊かで創造力にあふれる人材の育成を進めています。</p>		
<p>○本年度は、以下のような取り組みを行っています。</p>			
<p>児童生徒の豊かな情操の涵養を図る</p>	<p>2-1 小中学校芸術鑑賞事業 (事業費 11,296千円)</p> <p>児童生徒に優れた舞台芸術等の鑑賞機会を市内の大ステージ付き施設(市民会館等)で、小中学校ごとに同じ演目で提供します。会場は、大曲市民会館、ドンパル(中仙)、和ピア(協和)の3か所とし、児童生徒の負担は1,000円で残りは市が負担します。</p>	<p>教育委員会 学校教育課</p>	
<p>児童生徒に身につける学力の定着や向上を図る</p>	<p>2-2 体験的学習時間支援事業 (事業費 18,274千円)</p> <p>小中学校における各教科等(総合的な学習の時間を含む)での体験的学習を通して、身につける学力の定着や向上を図ります。1校あたり30万円+人数割り加算の予算で事業を実施します。</p>	<p>教育委員会 学校教育課</p>	
<p>通常学級に在籍する障害のある児童生徒の支援を図る</p>	<p>2-3 学校生活支援事業 (事業費 39,331千円)</p> <p>通常学級に在籍する有障害児童生徒に対し、障害の状況に応じ個別に指導と援助を行います。学校からの要望が非常に多く、学校生活支援員は平成17年度の14人から18年度は23人に増員しています。</p>	<p>教育委員会 学校教育課</p>	

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	95	154	130	26	10	12	427
構成比	22.2	36.1	30.4	6.1	2.3	2.8	99.9

加重平均点
3.718

判定
A

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	151	165	77	17	8	6	3	427
構成比	35.4	38.6	18.0	4.0	1.9	1.4	0.7	100.0

加重平均点
4.009

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	144	151	84	19	2	24	3	427
構成比	33.7	35.4	19.7	4.4	0.5	5.6	0.7	100.0

加重平均点
3.925

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	183	161	58	9	5	8	3	427
構成比	42.9	37.7	13.6	2.1	1.2	1.9	0.7	100.1

加重平均点
4.179

判定
A

施策の目的	市の取り組み		
3. 生き活きと希望を持って活躍できるまちづくりを進める	○市の取り組み状況について 本市は県内有数の穀倉地帯であることから農業を主要な産業と位置づけ、国県の事業を活用しながら大仙市水田農業ビジョンに基づき、担い手支援やほ場整備など土地改良事業、地場製品の消費拡大等の事業を進めています。		
○本年度は、以下のような取り組みを行っています。			
集落を基礎とした営農組織の育成と法人化を目指す	3-1 集落営農法人化推進事業	(事業費 29,971千円) 小規模な農家や兼業農家も担い手となる営農組織を構成する一員となることのできるよう、集落を基礎とした営農組織の育成と法人化を推進します。 ■大仙市集落営農・法人化支援センターを設置し、集落組織の育成・法人化を図ります。 ■19年度から実施される「経営所得安定対策等大綱」の周知徹底を図ります。 ■集落営農・法人化推進活動支援補助、法人設立費用の一部を助成します。 ■営農組織に対する活動費を交付します。	農林商工部 農林振興課
生産調整に対する農業者への支援と複合作物の拡大を図る	3-2 産地づくり推進事業	(事業費 142,886千円) 水田農業改革対策において策定する大仙市水田農業ビジョンの目的を達成するため、9種類のメニューによる市単独補助事業を設定し農業者をサポートします。 対象は目標面積の超過分に対する助成、団地化に対する助成、有機栽培に対する助成ほか6つの事業です。	農林商工部 農林振興課
農業構造の展望と農家所得の安定的な確保を目指す	3-3 畑作園芸振興事業	(事業費 7,424千円) 農家の初期投資を軽減し、特に畑作・施設園芸等への新規取り組み農家の拡大への意欲向上をねらい市単独事業を実施します。(助成対象上限事業費100万円、補助率は1/4以内) 対象事業は、転作田を含む畑作・施設園芸用施設・機械、資材・種苗等となっています。	農林商工部 農林振興課

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	60	112	179	37	21	18	427
構成比	14.1	26.2	41.9	8.7	4.9	4.2	100.0

加重平均点
3.374

判定
B

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	61	108	144	27	13	69	5	427
構成比	14.3	25.3	33.7	6.3	3.0	16.2	1.2	100.0

加重平均点
3.256

判定
B

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	54	123	130	22	11	81	6	427
構成比	12.6	28.8	30.4	5.2	2.6	19.0	1.4	100.0

加重平均点
3.252

判定
B

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	59	117	141	25	8	71	6	427
構成比	13.8	27.4	33.0	5.9	1.9	16.6	1.4	100.0

加重平均点
3.292

判定
B

施策の目的	市の取り組み		
3. 生き活きと希望を持って活躍できるまちづくりを進める	<p>○市の取り組み状況について</p> <p>各地域の商工団体による中小企業相談や経営指導の促進等の活動を支援するほか、中小事業者への融資制度や商工団体への助成を行っています。</p> <p>また、観光の振興では、地域内のイベントや民俗行事に支援を行っているほか、観光案内板等の整備を進めています。</p> <p>雇用の安定・就労の推進では、雇用情報の提供や市独自の雇用助成金制度による若年者の雇用機会の拡大を進めています。</p>		
○本年度は、以下のような取り組みを行っています。			
企業誘致促進により雇用の拡大を図る	<p>3-4 企業誘致振興対策費 (事業費 29,637千円)</p> <p>市内の工業団地に積極的な企業誘致を図り、雇用の拡大と若者の定住促進を目指します。</p> <p>市内の企業との情報交換等による事業拡大のための支援策を検討します。</p>	農林商工部 商工観光課	
観光誘導看板により観光PRを図る	<p>3-5 観光ガイドボード(案内看板)事業 (事業費 3,882千円)</p> <p>市内の観光スポットを把握できるように観光誘導看板を活用し、観光振興を図ります。</p> <p>観光誘導サインの改善方法の調査や既存の観光案内看板・観光ガイドボードの維持管理などを行います。</p>	農林商工部 商工観光課	

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	42	142	143	64	20	16	427
構成比	9.8	33.3	33.5	15.0	4.7	3.7	100.0

加重平均点
3.297

判定
B

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	90	136	105	42	8	31	15	427
構成比	21.1	31.9	24.6	9.8	1.9	7.3	3.5	100.1

加重平均点
3.551

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	78	142	124	45	14	11	13	427
構成比	18.3	33.3	29.0	10.5	3.3	2.6	3.0	100.0

加重平均点
3.517

判定
A

施策の目的	市の取り組み		
4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める	<p>○市の取り組み状況について</p> <p>主要な公共施設や都市機能に対する交通の利便性を図るため、都市計画道路や幹線道路等の整備を進めています。</p> <p>また、生活道路については、道路環境の向上や安全性確保のため改良・舗装などの整備を進めています。</p> <p>公共交通の整備では、交通弱者である高齢者、障害者等の交通手段の確保や公共交通空白地域において、乗合タクシーやシャトルバス等の運行を行っています。</p>		
<p>○本年度は、以下のような取り組みを行っています。</p>			
公共交通空白地域の縮減を図るため、交通システムを検討する	4-1 地域交通対策検討事業	(事業費 780千円) 交通弱者とされる高齢者、障害者等の交通手段の確保と公共交通空白地域において実施している乗合タクシーやシャトルバス等を参考に、新たな交通システムを検討します。	企画部 総合政策課
幹線道路を整備し、交通ネットワークの構築を図る	4-2 地方道路交付金事業、地方特定道路整備事業	(事業費 425,698千円) 主要な公共施設や都市機能に対する交通の利便性向上を目指し、国道や県道への接続を勘案した幹線道路として整備します。 ■地方道路交付金事業（古四王際飯詰線、黒森山線、中仙4号線） ■地方特定道路整備事業（宮林線、仙北45号線）	建設部 道路河川課
生活道路を整備し、安全性・快適性を確保する	4-3 道路新設改良事業	(事業費 535,660千円) 市民が日常的に利用する生活道路を整備します。 大曲地域（27路線）、神岡地域（3路線）、西仙北地域（2路線）、中仙地域（7路線）、協和地域（7路線）、南外地域（4路線）、仙北地域（2路線）、太田地域（3路線）	建設部 道路河川課

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	77	173	94	42	19	22	427
構成比	18.0	40.5	22.0	9.8	4.4	5.2	99.9

加重平均点
3.610

A
A

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	130	173	74	16	7	15	12	427
構成比	30.4	40.5	17.3	3.7	1.6	3.5	2.8	99.8

加重平均点
3.935

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	82	175	116	14	11	18	11	427
構成比	19.2	41.0	27.2	3.3	2.6	4.2	2.6	100.1

加重平均点
3.685

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	123	179	78	14	9	15	9	427
構成比	28.8	41.9	18.3	3.3	2.1	3.5	2.1	100.0

加重平均点
3.904

判定
A

施策の目的	市の取り組み	
4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める	<p>○市の取り組み状況について</p> <p>大曲駅周辺の市街地整備については、土地区画整理事業により黒瀬町地区が完了し現在、丸の内地区への事業に入っています。加えて平成17年度から大花町地区での区画整理事業を進めています。さらに、区画整理と一体的に駅東地区の整備を進め、大仙市の中心都市にふさわしい市街地を目指しています。</p> <p>また、神岡地区、旧街道周辺地区（中仙）、羽後境駅周辺地区（協和）において、地域の歴史、文化、自然環境等の特性を活かした個性あるまちづくりを進めています。</p>	
○本年度は、以下のような取り組みを行っています。		
土地利用を再生し、魅力的な中心市街地を創出する	<p>4-4 大曲駅前第二地区土地区画整理事業、住宅市街地総合整備事業（事業費 2,921,289千円）</p> <p>市の中心市街地である大曲駅前地区（丸の内町、大花町）の土地利用を整備し、商店街の形成や良好な居住環境を創出します。</p> <p>■大曲駅前第二地区土地区画整理事業 施行地区面積：25.7ヘクタール、施工期間：平成元年度～24年度</p> <p>■住宅市街地総合整備事業 施行地区面積：6.36ヘクタール、施工期間：平成16年度～24年度</p>	建設部 土地区画整理事務所
地域特性に応じた魅力的な市街地を創出する	<p>4-5 まちづくり交付金事業（事業費 1,406,657千円）</p> <p>■大曲駅周辺地区 秋田新幹線駅としてふさわしい「大仙市の顔」としての大曲駅周辺地区の市街地を整備します。</p> <p>■神岡地区 神宮寺駅周辺、下川原地区の2つを核とする地域交流拠点の創造と地域特性を活かした良好な居住環境を整備します。</p> <p>■旧街道周辺地区（中仙） 旧街道の街並み保存と歩行者空間の確保、JR駅舎・周辺機能の整備による市街地を再生します。</p> <p>■羽後境駅周辺地区（協和） 羽後境駅周辺の交通機能、住環境、地域交流拠点等の整備による市街地を再生します。</p>	建設部 都市計画課

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	60	161	127	38	27	14	427
構成比	14.1	37.7	29.7	8.9	6.3	3.3	100.0

加重平均点
3.458

判定
B

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	60	116	150	32	28	28	13	427
構成比	14.1	27.2	35.1	7.5	6.6	6.6	3.0	100.1

加重平均点
3.290

判定
B

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	79	138	128	26	19	29	8	427
構成比	18.5	32.3	30.0	6.1	4.4	6.8	1.9	100.0

加重平均点
3.484

判定
B

施策の目的	市の取り組み		
4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める	<p>○市の取り組み状況について</p> <p>上水道の整備では、生活用水に不安を抱えた地域及び未普及地域の解消を進めています。下水道の整備では、水質汚濁による生活環境の悪化に対処し清潔で快適な市民生活の実現を図るため、公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽設置事業により下水未処理地区の解消を進めています。</p>		
○本年度は、以下のような取り組みを行っています。			
安全な水道水を安定的に提供する	<p>4-6 水道事業、簡易水道事業 (事業費 973,919千円)</p> <p>水道の未普及地域の解消を図るため、真木ダム代替案で示された水道水源を参考に、市全域にわたる水道事業基本計画を18・19年度の2か年で策定します。</p> <p>■上水道事業 (玉川浄水場揚水試験、配水管拡張・改良・移設等工事、大曲橋架け替えに伴う詳細設計業務)</p> <p>■簡易水道事業 (仙北南地区、川前地区、刈和野地区、大沢郷地区、入角地区、沢庄地区)、淀川地区簡易水道水源電気探査業務委託</p>	水道局 上水道課	
快適で環境にやさしい生活環境を創出する	<p>4-7 公共下水道整備事業、農業集落排水事業、浄化槽設置事業等 (事業費 3,552,880千円)</p> <p>公共用水域の水質の保全に努め、快適で環境にやさしい生活環境を創出するため、地域特性に応じた汚水処理施設の整備を進めます。</p> <p>■公共下水道 (大曲、神岡、西仙北地域)、■特定環境保全公共下水道 (中仙、協和、南外、仙北地域)、■農業集落排水事業 (大曲1地区、神岡1地区、中仙1地区、協和3地区、仙北1地区、太田2地区)、■特定地域生活排水処理事業 (西仙北、協和地域)、■合併処理浄化槽整備事業 (協和を除く7地域で260基)</p>	建設部 下水道課	

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	97	177	94	28	14	17	427
構成比	22.7	41.5	22.0	6.6	3.3	4.0	100.1

加重平均点
3.768

判定
A

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	101	178	104	7	2	27	8	427
構成比	23.7	41.7	24.4	1.6	0.5	6.3	1.9	100.1

加重平均点
3.816

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	108	184	93	11	2	18	11	427
構成比	25.3	43.1	21.8	2.6	0.5	4.2	2.6	100.1

加重平均点
3.882

判定
A

<p>施策の目的</p>	<p>市の取り組み</p>		
<p>5. 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくりを進める</p>	<p>○市の取り組み状況について</p> <p>快適で安全な生活環境を創造するため、必要な施設・基盤の整備を進めています。廃棄物については、ごみの発生抑制・再利用・再生利用を促進するため、分別収集を実施しています。また、ごみ集積所の設置助成や生ごみ処理機購入補助も行っています。生活の安全・安心確保では、災害から市民を守るため、消防水利及び消防防災施設の計画的整備を進めています。</p>		
<p>○本年度は、以下のような取り組みを行っています。</p>			
<p>ごみ収集体制の統一を図る</p>	<p>5-1</p>	<p>ごみ収集事業 (事業費 159,213千円)</p> <p>地域ごとにごみの収集回数異なるなど、サービスが不均一であった体制を統一します。 ■可燃ごみ週2回、■不燃ごみ月1回、■資源ごみ(ビン・缶)月2回、■資源ごみ(ペットボトル)月1回、■資源ごみ(古紙)月1回 また、ごみ収集車の火災事故を防止するため、全戸にガス抜き器具を配布します。</p>	<p>市民生活部 環境課</p>
<p>あらゆる災害から市民を守る</p>	<p>5-2</p>	<p>消防施設・設備整備事業 (事業費 73,317千円)</p> <p>市全域を考慮した消防水利及び消防防災施設整備の計画的配置を進めます。 18年度は、防火水槽7基、消火栓4か所、小型動力ポンプ6台、ポンプ等格納庫7棟、その他の整備を進めます。 また、消防団の士気高揚等を目的に、すべての団員に半てんを支給します。</p>	<p>市民生活部 消防安全課</p>

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	121	198	69	14	4	21	427
構成比	28.3	46.4	16.2	3.3	0.9	4.9	100.0

加重平均点
4.030

判定
A

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	187	171	35	11	7	3	13	427
構成比	43.8	40.0	8.2	2.6	1.6	0.7	3.0	99.9

加重平均点
4.249

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	140	169	77	10	7	11	13	427
構成比	32.8	39.6	18.0	2.3	1.6	2.6	3.0	99.9

加重平均点
4.000

判定
A

施策の目的	市の取り組み		
6. 仲間とふれあ いともに活躍で きるまちづくり を進める	<p>○市の取り組み状況について</p> <p>地域情報化については、市民がどこでも携帯電話を使用できる環境の整備を進めています。</p> <p>女性の社会参画については、市の審議会等委員に女性を積極的に登用するなど参画機会の推進に努めています。</p> <p>また、男性の育児や介護休業制度の利用など様々な啓発活動や子育て、高齢者、障害者、ひとり親に対する支援や健康増進により直接、間接的に男女共同参画社会の形成を目指しています。</p>		
	<p>○本年度は、以下のような取り組みを行っています。</p>		
	<p>携帯電話の不感地 域を解消する</p>	<p>6-1 移動通信用鉄塔施設整備事業 (事業費 101,222千円)</p> <p>市民がどこでも携帯電話を使用できる環境を整備するため、不感となっている地域を順次解消していきます。</p> <p>18年度は、西仙北地域(土川地区)に1基移動通信用鉄塔を建設します。また、19年度には協和地域1基、南外地域2基、20年度には西仙北地域1基、南外地域1基の建設を予定しています。</p>	<p>企画部 情報システム課</p>
<p>男女共同参画を啓 発・普及する</p>	<p>6-2 男女共同参画推進事業 (事業費 207千円)</p> <p>家庭や地域、職場等に存在する性別役割分担意識や、男女の生き方を制限している古い習慣等について改めて考える機会を提供し、男女共同参画意識を浸透させるため、市民から川柳及びポスターを募集します。</p>	<p>企画部 男女共同参 画室</p>	

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	75	153	137	27	13	22	427
構成比	17.6	35.8	32.1	6.3	3.0	5.2	100.0

加重平均点
3.617

判定
A

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	147	163	73	13	7	8	16	427
構成比	34.4	38.2	17.1	3.0	1.6	1.9	3.7	99.9

加重平均点
4.027

判定
A

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	58	136	147	37	17	17	15	427
構成比	13.6	31.9	34.4	8.7	4.0	4.0	3.5	100.1

加重平均点
3.398

判定
B

施策の目的	市の取り組み		
7. 計画の推進にあたって	<p>○市の取り組み状況について</p> <p>市民との協働によるまちづくりを進めるため、自治会館等の建設や維持補修に対する助成、個性豊かな地域づくりを目指す自治会活動への助成、ボランティア団体やNPO法人を含む市民団体等の地域づくり活動への助成を行いながら、市民自らの主体的な活動の支援を進めています。</p>		
○本年度は、以下のような取り組みを行っています。			
市民と行政の協働のまちづくりを推進する	7-1	<p>地域振興(地域枠)事業</p> <p>地域が抱えているそれぞれの課題に対し、各地域自治区に設置された地域協議会との協議により、自主的、主体的に市民が行政と一体となって事業を行うため、地域枠予算として、大曲地域に1,000万円、他の7地域に500万円を配分します。</p>	<p>(事業費 45,000千円)</p> <p>企画部 総合政策課</p>
自治会活動の推進を図る	7-2	<p>自治会育成支援補助金</p> <p>自治会の自治活動及び地域づくり活動等、並びに自主運営している自治会館等の維持管理費の一部を補助します。</p>	<p>(事業費 30,569千円)</p> <p>企画部 総合政策課</p>

評価結果（単純集計）

○この分野について、大仙市の現状を、どうお考えでしょうか。

	5点	4点	3点	2点	1点		
	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	未記入	計
実数	53	159	168	23	4	20	427
構成比	12.4	37.2	39.3	5.4	0.9	4.7	99.9

加重平均点
3.575

判定
A

○本年度の取り組みは、目的に対して有効だと考えますか。

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	65	151	123	23	7	42	16	427
構成比	15.2	35.4	28.8	5.4	1.6	9.8	3.7	99.9

加重平均点
3.491

判定
B

	5点	4点	3点	2点	1点	2点		
	有効	やや有効	どちらでもない	あまり有効でない	有効でない	事業内容が分からない	未記入	計
実数	76	159	129	12	7	28	16	427
構成比	17.8	37.2	30.2	2.8	1.6	6.6	3.7	99.9

加重平均点
3.625

判定
A

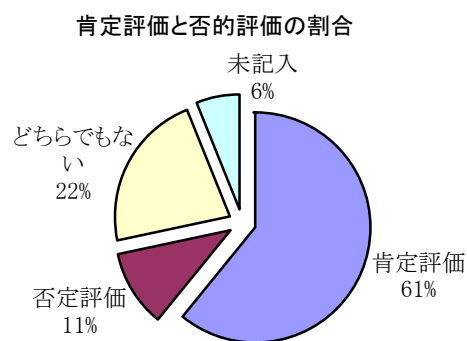
2. 年齢別、地域別の状況及び記述意見

【1】現状の満足度について

1. 安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める（乳幼児）

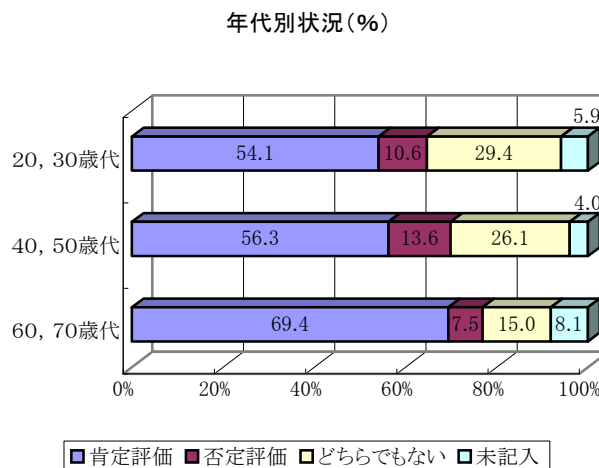
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	260	46	95	26	427



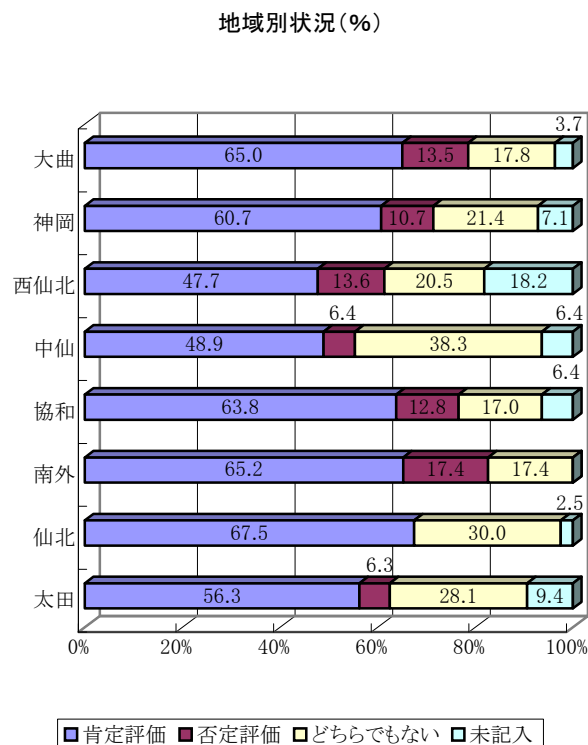
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	46	9	25	5	85
40, 50歳代	99	24	46	7	176
60, 70歳代	111	12	24	13	160
年齢未記入	4	1	0	1	6
計	260	46	95	26	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	106	22	29	6	163
神岡	17	3	6	2	28
西仙北	21	6	9	8	44
中仙	23	3	18	3	47
協和	30	6	8	3	47
南外	15	4	4	0	23
仙北	27	0	12	1	40
太田	18	2	9	3	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	260	46	95	26	427



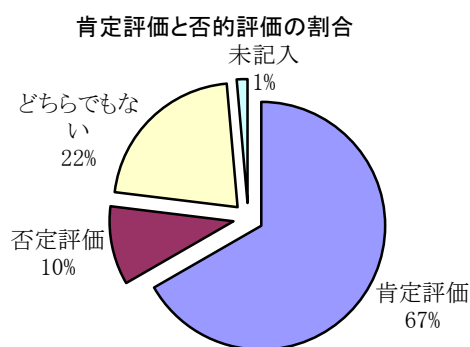
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が61%である。「どちらでもない」が22%と否定評価11%の2倍となっています。
- ・年代別では、年代が高い順に肯定評価の割合も高くなっています。
- ・地域別では、西仙北、中仙地域で肯定評価が5割に達していません。
- ・自由記載欄から、「子育て支援等の取り組みが前より充実してきていて満足している」等の肯定意見と、「所得制限を設けるのは不平等」「児童手当などの充実を図っても、少子化の解消には繋がらない」等の否定意見があります。

1. 安心して健やかに暮らせるまちづくりを進める（高齢者）

(1) 全体

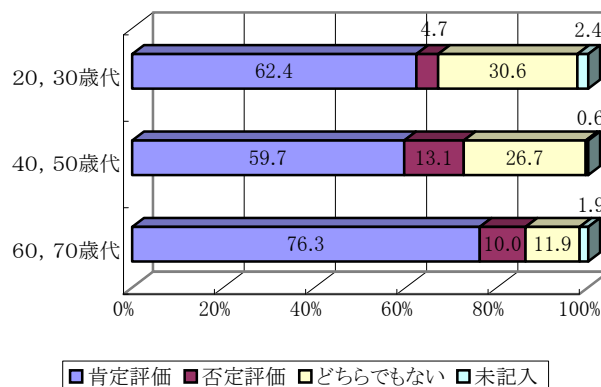
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	285	44	92	6	427



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	53	4	26	2	85
40, 50歳代	105	23	47	1	176
60, 70歳代	122	16	19	3	160
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	285	44	92	6	427

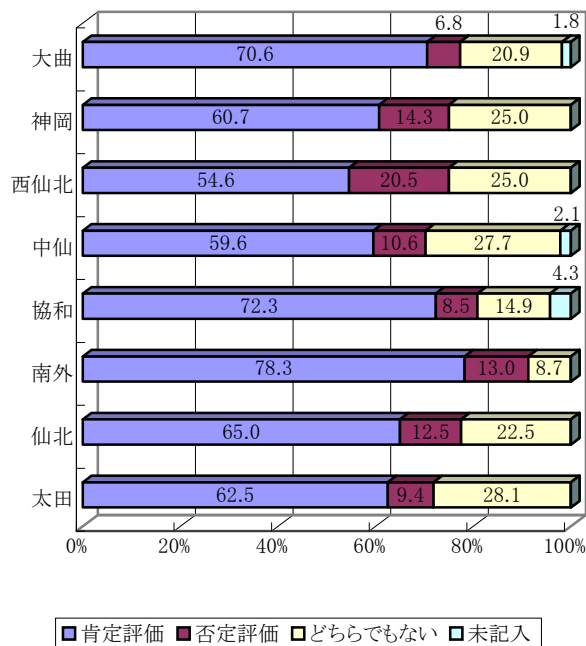
年代別状況(%)



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	115	11	34	3	163
神岡	17	4	7	0	28
西仙北	24	9	11	0	44
中仙	28	5	13	1	47
協和	34	4	7	2	47
南外	18	3	2	0	23
仙北	26	5	9	0	40
太田	20	3	9	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	285	44	92	6	427

地域別状況(%)



(4) 説明

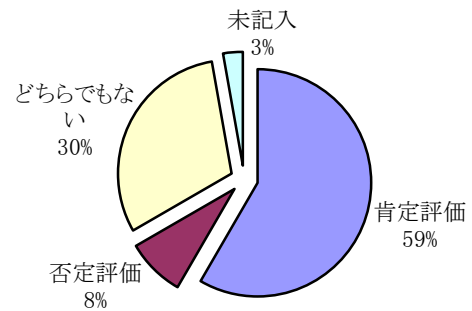
- ・全体の肯定評価は67%であります。
- ・年代別では、「60, 70歳代」で肯定評価が76.3%と高い評価を得ています。
- ・地域別では、西仙北地域で否定評価が20.5%と他地域と比べ高くなっています。
- ・自由記載欄から、「老人が安心して暮らせる基礎的条件整備に尽力してもらいたい」等、もっと違った高齢者施策を望む意見があります。

2. 未来（あす）を創り心豊かな人を育むまちづくりを進める（教育）

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	249	36	130	12	427

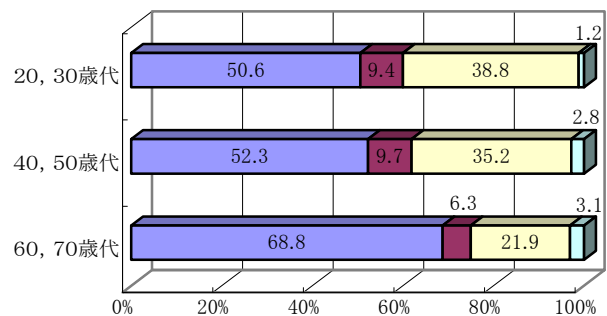
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	43	8	33	1	85
40, 50歳代	92	17	62	5	176
60, 70歳代	110	10	35	5	160
年齢未記入	4	1	0	1	6
計	249	36	130	12	427

年代別状況(%)

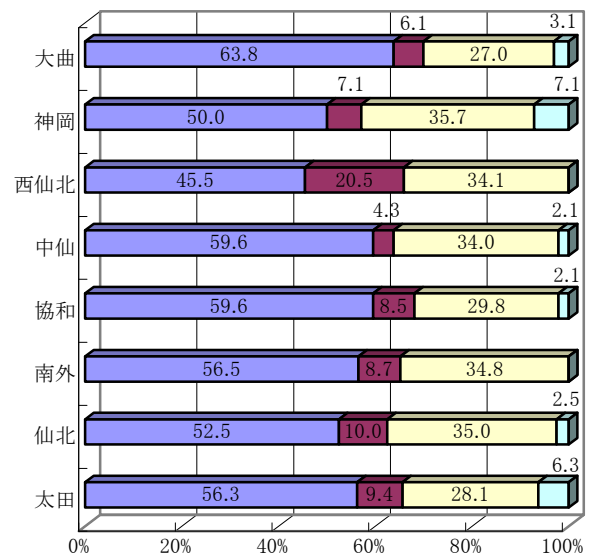


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	104	10	44	5	163
神岡	14	2	10	2	28
西仙北	20	9	15	0	44
中仙	28	2	16	1	47
協和	28	4	14	1	47
南外	13	2	8	0	23
仙北	21	4	14	1	40
太田	18	3	9	2	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	249	36	130	12	427

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(4) 説明

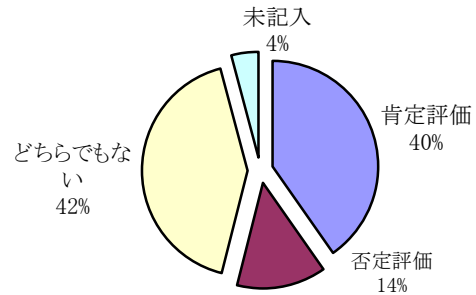
- ・全体では肯定評価が59%であります。否定評価は8%にすぎないが、「どちらでもない」が30%に達しています。
- ・年代別では、年代が下がるにつれて「どちらでもない」の割合が高くなっています。
- ・地域別では、西仙北地域のみ肯定評価が5割に達しておらず、否定評価が20%を超えています。
- ・自由記載欄から、教育の指導計画の乏しきや教師の能力低下に対する不満、児童の通学時の安全確保を求める意見が多くあります。

3. 生き生きと希望を持って生活できるまちづくりを進める（農業）

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	172	58	179	18	427

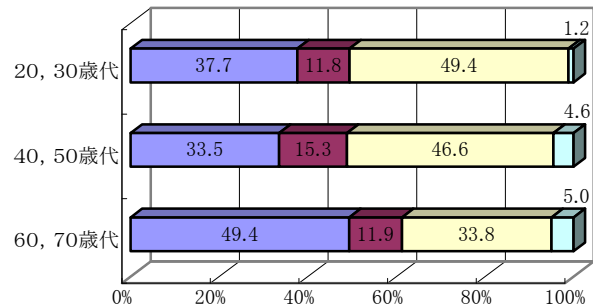
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	32	10	42	1	85
40, 50歳代	59	27	82	8	176
60, 70歳代	79	19	54	8	160
年齢未記入	2	2	1	1	6
計	172	58	179	18	427

年代別状況 (%)

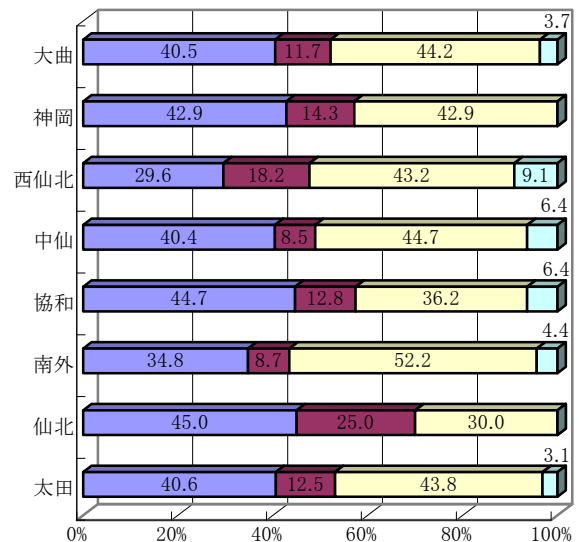


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	66	19	72	6	163
神岡	12	4	12	0	28
西仙北	13	8	19	4	44
中仙	19	4	21	3	47
協和	21	6	17	3	47
南外	8	2	12	1	23
仙北	18	10	12	0	40
太田	13	4	14	1	32
地域未記入	2	1	0	0	3
計	172	58	179	18	427

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(4) 説明

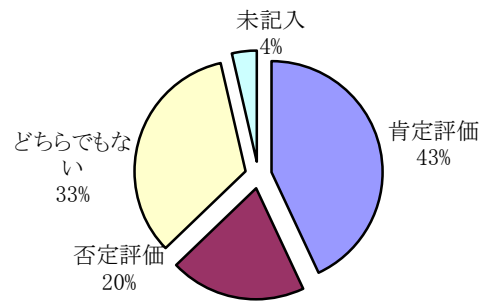
- ・全体で肯定評価が40%にすぎません。「どちらでもない」が42%と肯定評価を上回っています。
- ・年代別では、各年代とも肯定評価が5割に達していません。
- ・地域別では、仙北地域で肯定評価も否定評価も一番高くなっています。
- ・自由記載欄から、「農業、特に稲作を基幹産業ともう位置づけるべきではない。農業を第一に掲げている限り市の発展はない」「国で集落営農化を推進しているが、小規模農家の離農の受け入れ体制は必要だが強引に法人化や集落営農に参加させる必要はないと思う」等否定意見が多くあります。

3. 生き活きと希望を持って生活できるまちづくりを進める（商工観光）

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	184	84	143	16	427

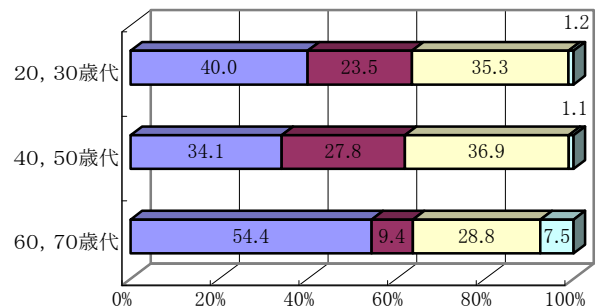
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	34	20	30	1	85
40, 50歳代	60	49	65	2	176
60, 70歳代	87	15	46	12	160
年齢未記入	3	0	2	1	6
計	184	84	143	16	427

年代別状況(%)

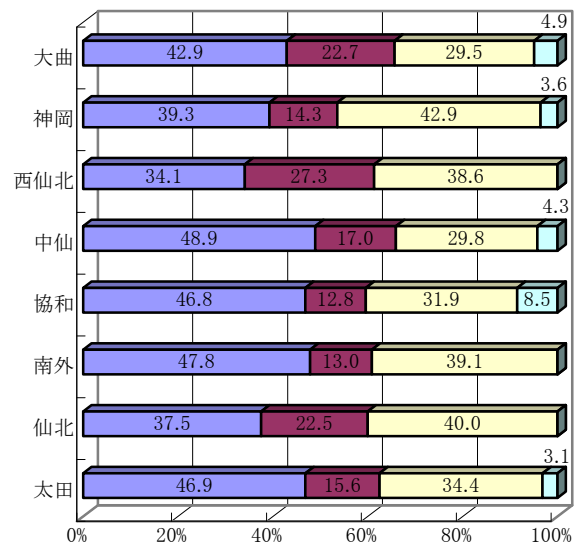


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	70	37	48	8	163
神岡	11	4	12	1	28
西仙北	15	12	17	0	44
中仙	23	8	14	2	47
協和	22	6	15	4	47
南外	11	3	9	0	23
仙北	15	9	16	0	40
太田	15	5	11	1	32
地域未記入	2	0	1	0	3
計	184	84	143	16	427

地域別状況(%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(4) 説明

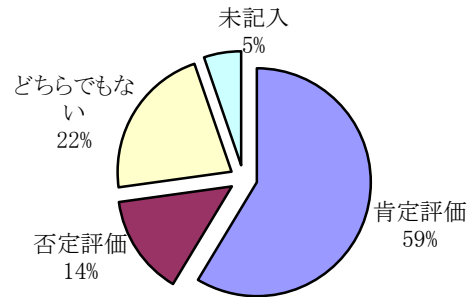
- ・全体での肯定評価は43%にとどまっています。
- ・年代別では、「60, 70歳代」で肯定評価が唯一5割を超えています。
- ・地域別では、西仙北地域で否定評価の割合が最も高くなっています。
- ・自由記載欄から、「雇用の場を増やし県外に出ていく若者を減らすことが、今一番必要だと思う」等、若者の雇用確保に対する意見が多く、「高齢者でも働ける事業が少しでも多くなることを望む」といった意見もあります。

4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める (交通・道路)

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	250	61	94	22	427

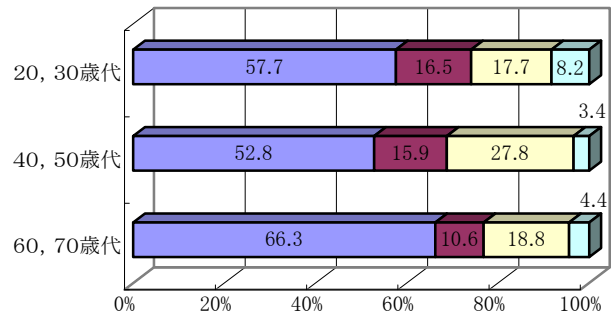
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	49	14	15	7	85
40, 50歳代	93	28	49	6	176
60, 70歳代	106	17	30	7	160
年齢未記入	2	2	0	2	6
計	250	61	94	22	427

年代別状況(%)

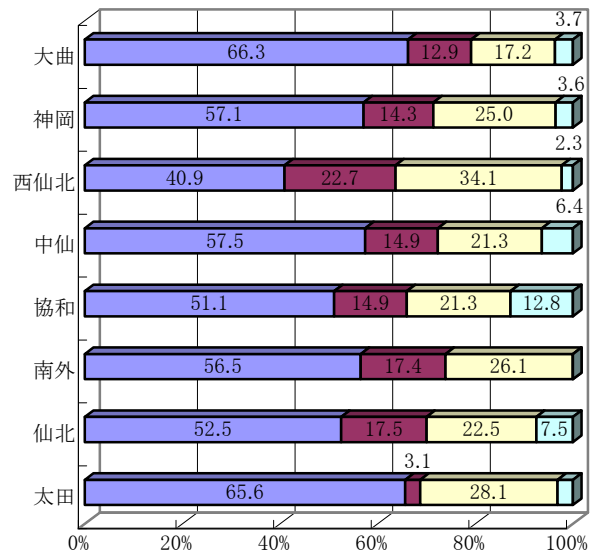


■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	108	21	28	6	163
神岡	16	4	7	1	28
西仙北	18	10	15	1	44
中仙	27	7	10	3	47
協和	24	7	10	6	47
南外	13	4	6	0	23
仙北	21	7	9	3	40
太田	21	1	9	1	32
地域未記入	2	0	0	1	3
計	250	61	94	22	427

地域別状況(%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

(4) 説明

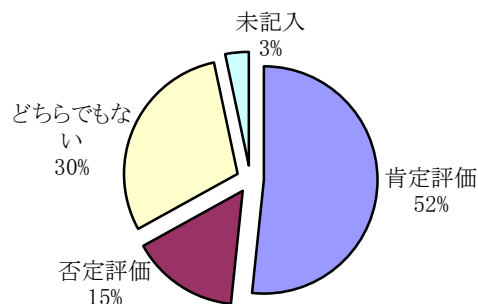
- ・全体で肯定評価が59%であります。
- ・年代別では、全年代で肯定評価が5割を超えています。「40, 50歳代」の肯定評価の割合が最も低くなっています。
- ・地域別では、西仙北地域で唯一肯定評価が40%台にとどまっています。
- ・自由記載欄から、「市民の実状に目を向け、生活道路の整備をお願いしたい」等、生活道路や通学路の早期改良を求める意見が多くあります。

4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める (駅周辺・まち交)

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	221	65	127	14	427

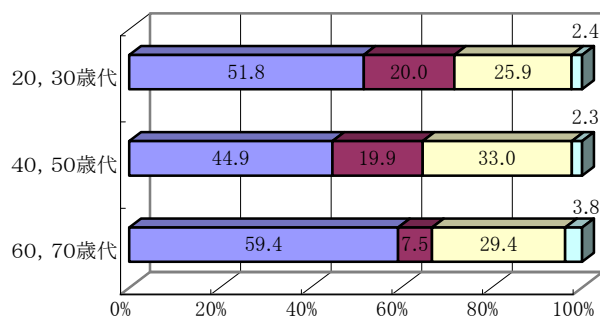
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	44	17	22	2	85
40, 50歳代	79	35	58	4	176
60, 70歳代	95	12	47	6	160
年齢未記入	3	1	0	2	6
計	221	65	127	14	427

年代別状況(%)

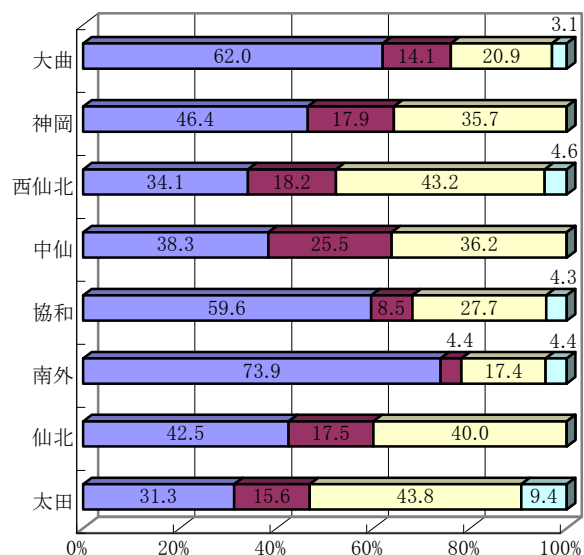


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	101	23	34	5	163
神岡	13	5	10	0	28
西仙北	15	8	19	2	44
中仙	18	12	17	0	47
協和	28	4	13	2	47
南外	17	1	4	1	23
仙北	17	7	16	0	40
太田	10	5	14	3	32
地域未記入	2	0	0	1	3
計	221	65	127	14	427

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(4) 説明

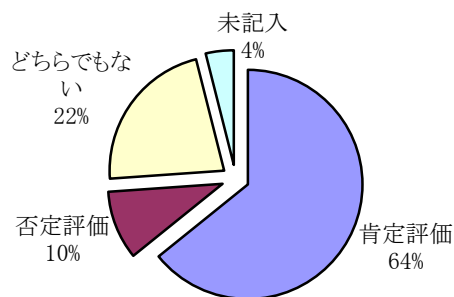
- ・年代別では、「40, 50歳代」で肯定評価の割合が5割に達していません。
- ・地域別では、各地域ごとに非常にばらつきのある結果となっています。
- ・自由記載欄から、中心市街地の空洞化を心配する意見や、将来像、全体像が見通せないため、事業に対する否定意見が多くあります。

4. 生活の基盤が整ったまちづくりを進める (上下水道)

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	274	42	94	17	427

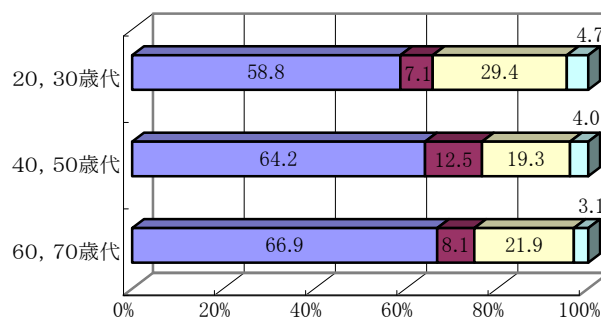
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	50	6	25	4	85
40, 50歳代	113	22	34	7	176
60, 70歳代	107	13	35	5	160
年齢未記入	4	1	0	1	6
計	274	42	94	17	427

年代別状況 (%)

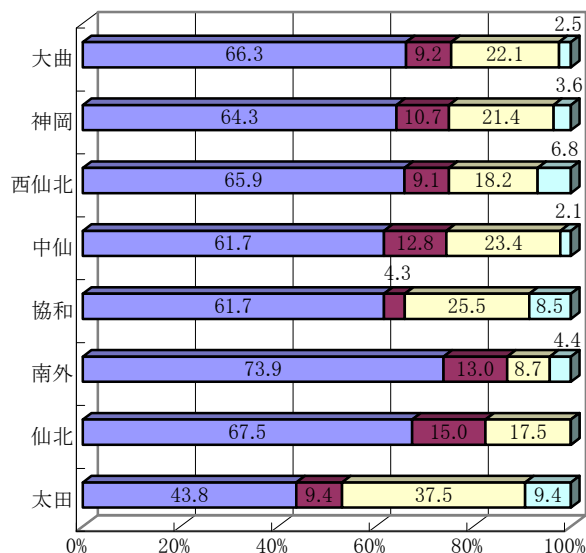


■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	108	15	36	4	163
神岡	18	3	6	1	28
西仙北	29	4	8	3	44
中仙	29	6	11	1	47
協和	29	2	12	4	47
南外	17	3	2	1	23
仙北	27	6	7	0	40
太田	14	3	12	3	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	274	42	94	17	427

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

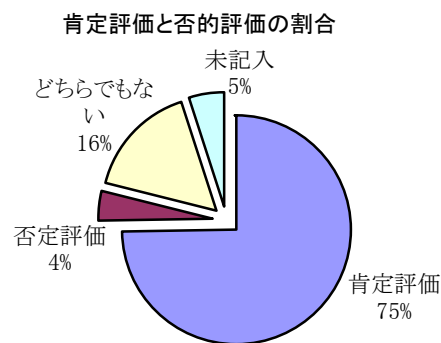
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が64%であります。
- ・年代別では、「60, 70歳代」と「40, 50歳代」で6割を超える肯定評価を得ており、「20, 30歳代」においても6割に迫る肯定評価となっています。
- ・地域別では、太田地域で肯定評価が43.8%と5割に達していないが、その他7地域では60%以上の肯定評価を得ています。

5. 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくりを進める（生活環境）

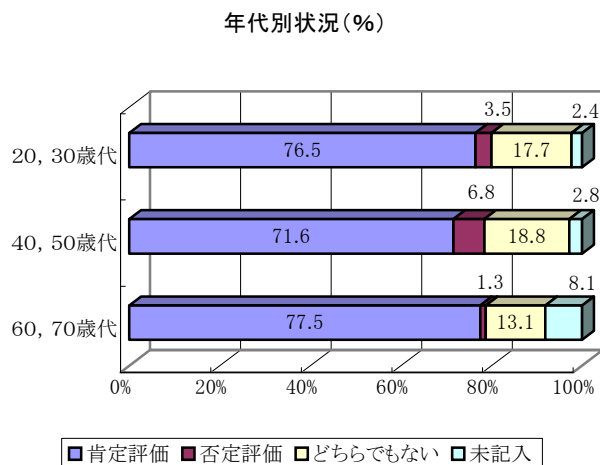
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	319	18	69	21	427



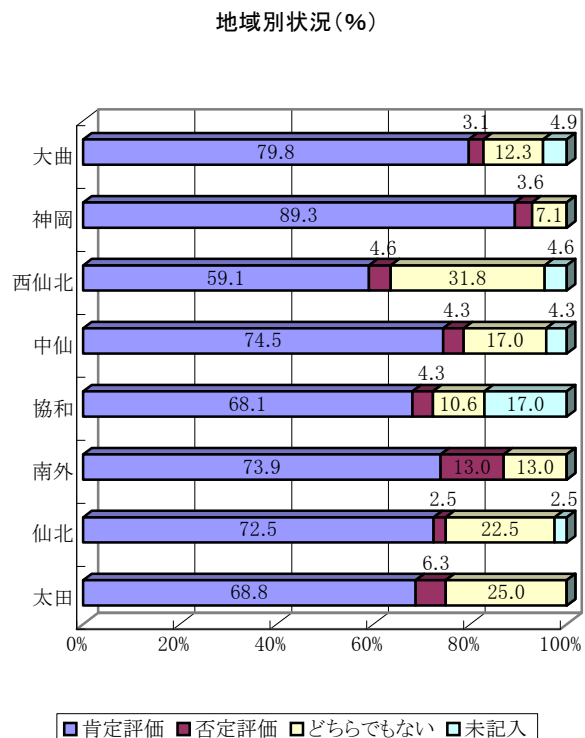
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	65	3	15	2	85
40, 50歳代	126	12	33	5	176
60, 70歳代	124	2	21	13	160
年齢未記入	4	1	0	1	6
計	319	18	69	21	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	130	5	20	8	163
神岡	25	1	2	0	28
西仙北	26	2	14	2	44
中仙	35	2	8	2	47
協和	32	2	5	8	47
南外	17	3	3	0	23
仙北	29	1	9	1	40
太田	22	2	8	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	319	18	69	21	427



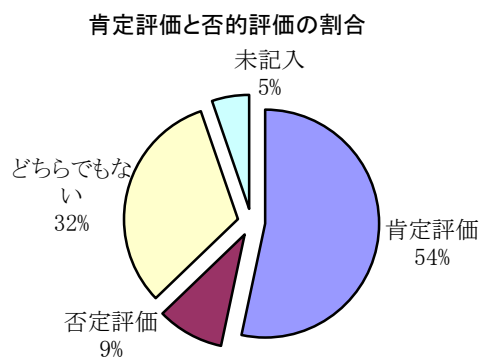
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が75%と高い評価を得ています。
- ・年代別にみても、各年代で7割以上の肯定評価を得ています。
- ・地域別では、各地域においてほぼ6割以上の肯定評価を得ています。
- ・自由記載欄から、「住民のモラルアップが最重要課題であり、市職員が手本となるように真剣に環境と向き合ってほしい」との意見があります。

6. 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくりを進める（地域情報化・男女共同参画）

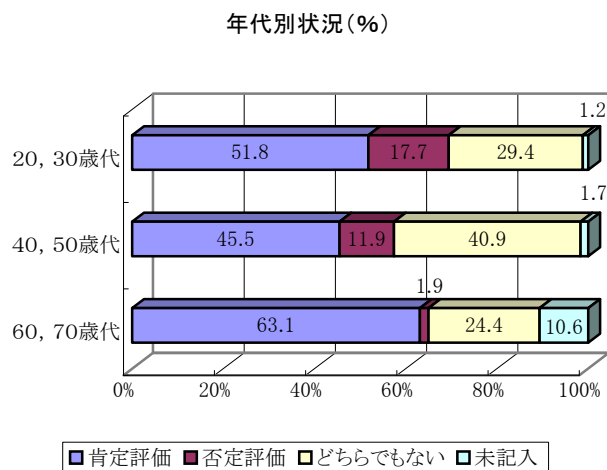
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	228	40	137	22	427



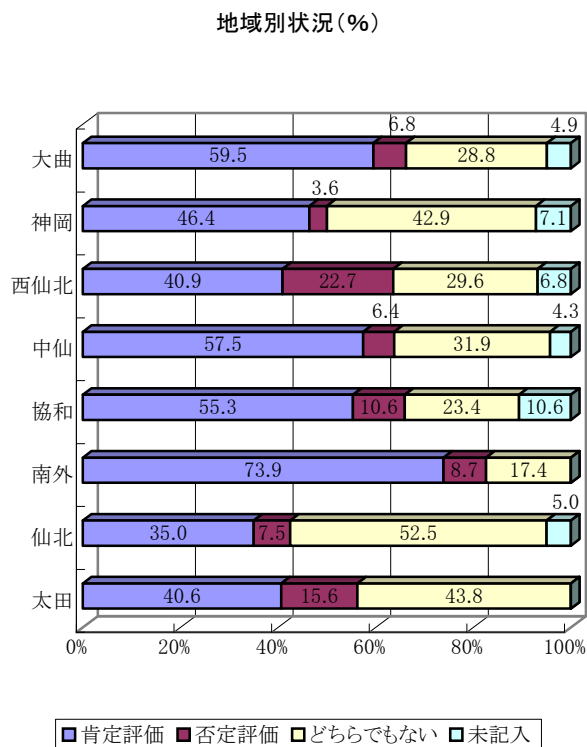
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	44	15	25	1	85
40, 50歳代	80	21	72	3	176
60, 70歳代	101	3	39	17	160
年齢未記入	3	1	1	1	6
計	228	40	137	22	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	97	11	47	8	163
神岡	13	1	12	2	28
西仙北	18	10	13	3	44
中仙	27	3	15	2	47
協和	26	5	11	5	47
南外	17	2	4	0	23
仙北	14	3	21	2	40
太田	13	5	14	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	228	40	137	22	427



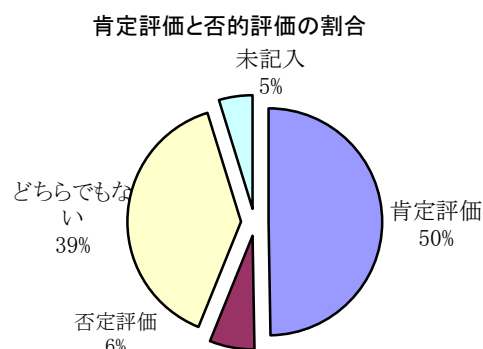
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が54%であります。
- ・年代別では、「40, 50歳代」の肯定評価が5割に達していません。
- ・地域別では、仙北地域が肯定評価35%で最も低く、「どちらでもない」が5割を超えています。

7. 計画の推進にあたって（市民自らの主体的な活動の支援）

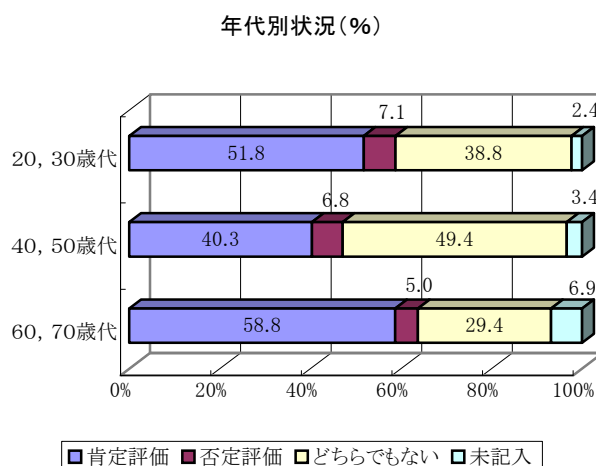
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	212	27	168	20	427



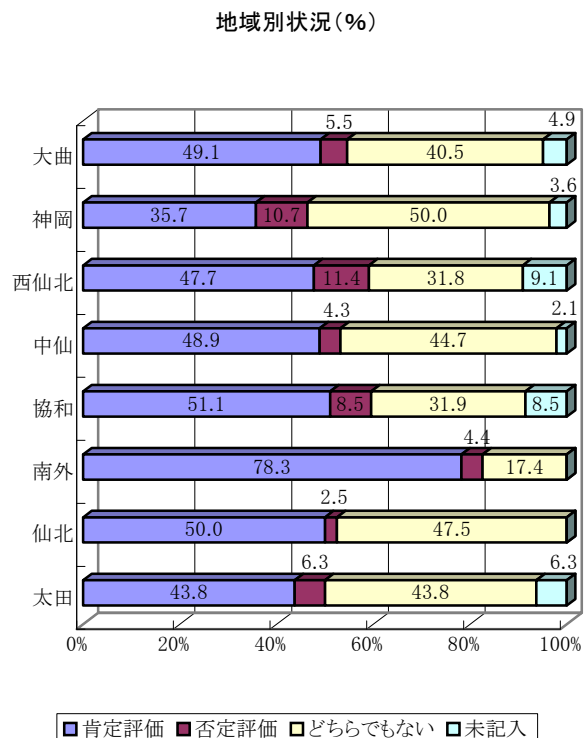
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	44	6	33	2	85
40, 50歳代	71	12	87	6	176
60, 70歳代	94	8	47	11	160
年齢未記入	3	1	1	1	6
計	212	27	168	20	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	80	9	66	8	163
神岡	10	3	14	1	28
西仙北	21	5	14	4	44
中仙	23	2	21	1	47
協和	24	4	15	4	47
南外	18	1	4	0	23
仙北	20	1	19	0	40
太田	14	2	14	2	32
地域未記入	2	0	1	0	3
計	212	27	168	20	427



(4) 説明

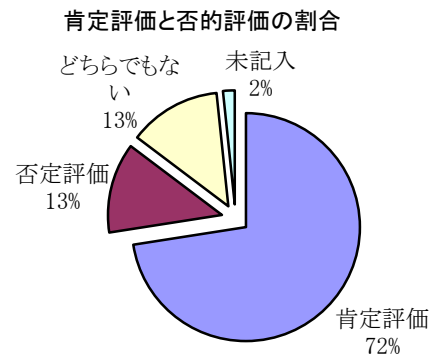
- ・全体で肯定評価が50%であります。否定評価は6%にすぎないが、「どちらでもない」が39%と高いです。
- ・年代別では、「40, 50歳代」が肯定評価40.3%で唯一5割に達していません。
- ・地域別では、神岡地域で肯定評価が最も低く、「どちらでもない」が5割に達しています。
- ・「事業内容が分からない」「効果が分からない」等の意見からも、取り組みに対する理解が得られていません。

【2】事業別の有効性について

1-1. 乳幼児、就学児（小児）医療費市独自助成事業

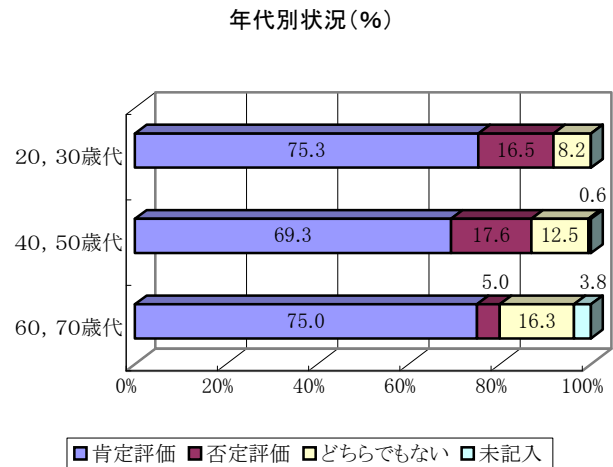
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	309	55	56	7	427



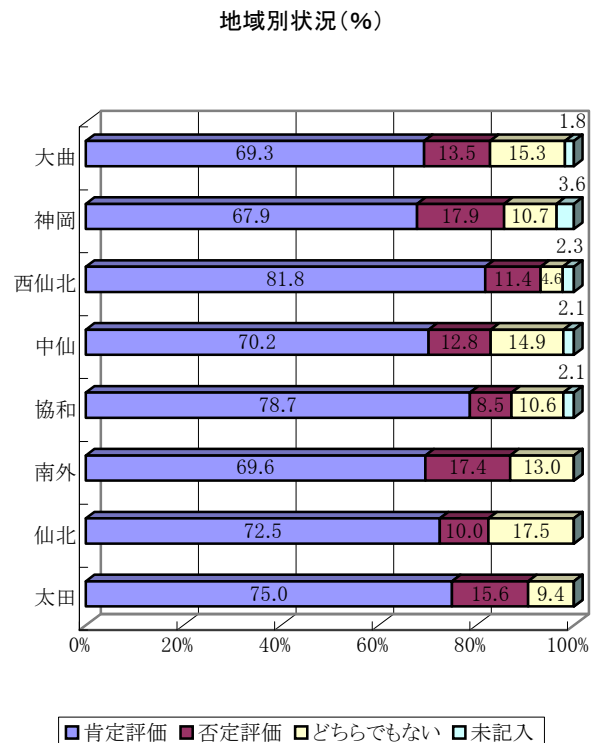
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	64	14	7	0	85
40, 50歳代	122	31	22	1	176
60, 70歳代	120	8	26	6	160
年齢未記入	3	2	1	0	6
計	309	55	56	7	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	113	22	25	3	163
神岡	19	5	3	1	28
西仙北	36	5	2	1	44
中仙	33	6	7	1	47
協和	37	4	5	1	47
南外	16	4	3	0	23
仙北	29	4	7	0	40
太田	24	5	3	0	32
地域未記入	2	0	1	0	3
計	309	55	56	7	427



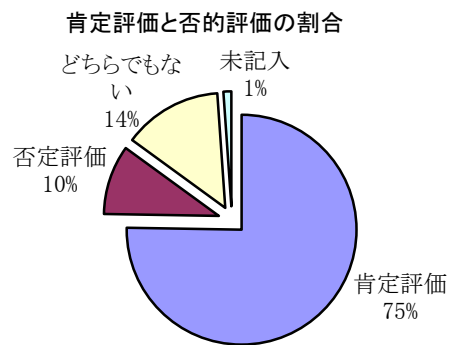
(4) 説明

- ・全体で72%の肯定評価を得ています。否定評価及び「どちらでもない」の割合が13%で同率となっています。
- ・「20, 30歳代」が最も評価の割合が高く、その他の年代でもほぼ同じ割合で評価を得ています。
- ・地域別にみても、偏ることなく評価を得ています。
- ・自由記載欄から、「市の財政を圧迫してまで行う必要はない」といった政策自体に対して否定的なものや「所得制限を設けるのは不平等だ」等、制度内容に対しての否定的意見が目立っています。

1-2. すこやか子育て手当金支給事業

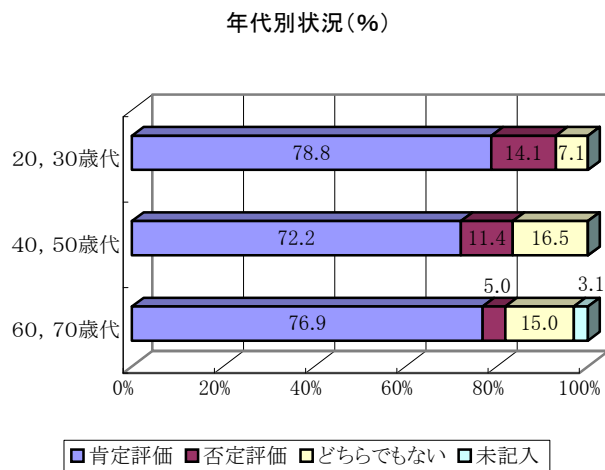
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	322	41	59	5	427



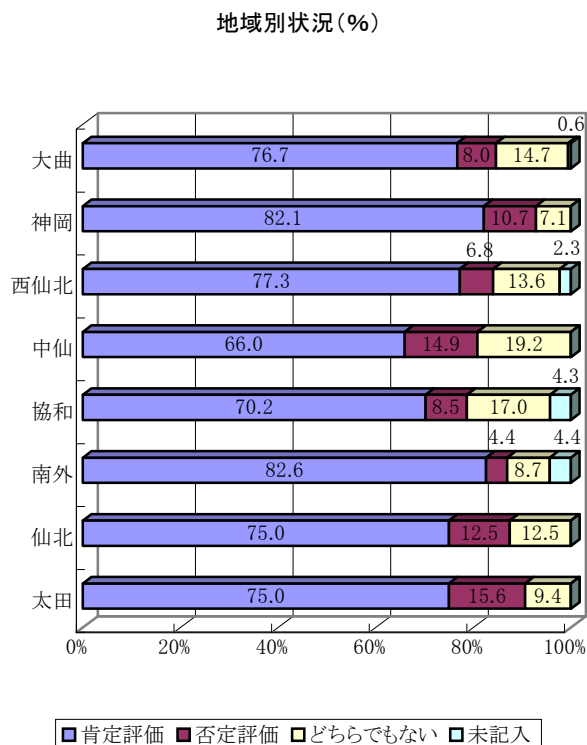
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	67	12	6	0	85
40, 50歳代	127	20	29	0	176
60, 70歳代	123	8	24	5	160
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	322	41	59	5	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	125	13	24	1	163
神岡	23	3	2	0	28
西仙北	34	3	6	1	44
中仙	31	7	9	0	47
協和	33	4	8	2	47
南外	19	1	2	1	23
仙北	30	5	5	0	40
太田	24	5	3	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	322	41	59	5	427



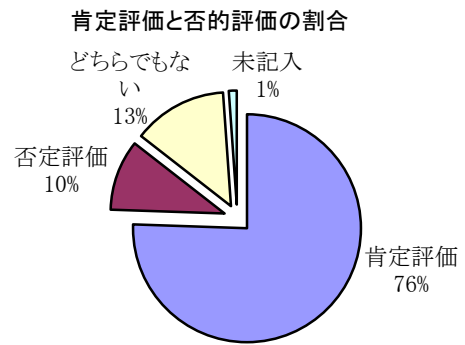
(4) 説明

- ・全体で75%の肯定評価を得ています。
- ・年代別でも、全年代で肯定評価が7割を超えています。「20, 30歳代」は肯定評価の割合が最も高いと同時に、否定評価の割合も一番高くなっています。
- ・地域別では、全地域で6割以上の肯定評価を得ています。

1-3. 地域児童健全育成推進事業

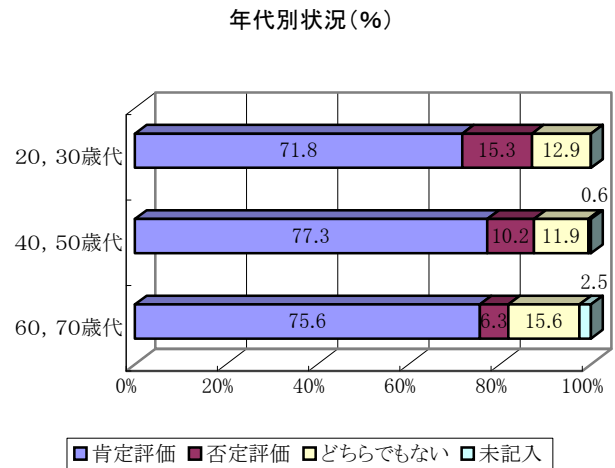
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	323	42	57	5	427



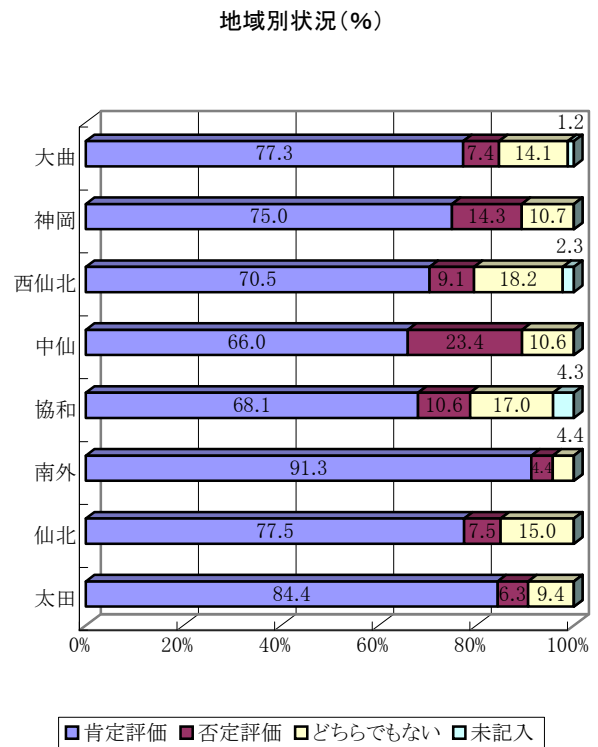
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	61	13	11	0	85
40, 50歳代	136	18	21	1	176
60, 70歳代	121	10	25	4	160
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	323	42	57	5	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	126	12	23	2	163
神岡	21	4	3	0	28
西仙北	31	4	8	1	44
中仙	31	11	5	0	47
協和	32	5	8	2	47
南外	21	1	1	0	23
仙北	31	3	6	0	40
太田	27	2	3	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	323	42	57	5	427



(4) 説明

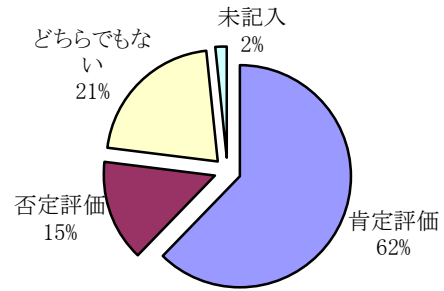
- ・年代別では、各年代とも肯定評価が7割を超えています。
- ・地域別では、西仙北地域で否定評価の割合が他地域に比べ高くなっています。
- ・自由記載欄から、「親の意識改革が最重要課題であり、保護施設の増のみでは根本的解決にならない」という意見があります。

1-4. 敬老の日事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	266	63	91	7	427

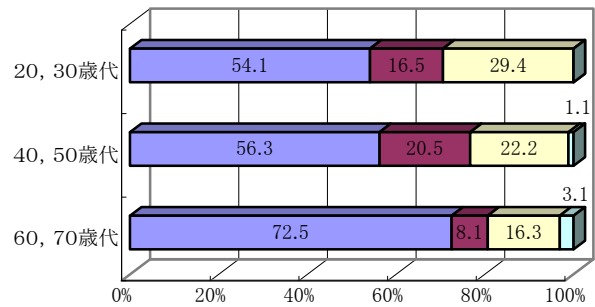
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	46	14	25	0	85
40, 50歳代	99	36	39	2	176
60, 70歳代	116	13	26	5	160
年齢未記入	5	0	1	0	6
計	266	63	91	7	427

年代別状況 (%)

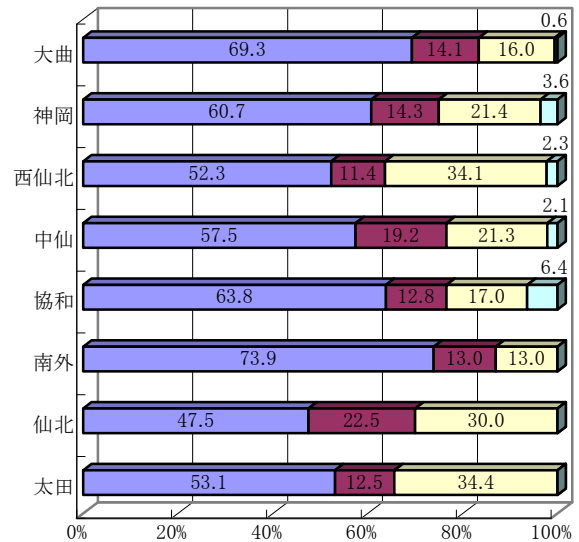


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	113	23	26	1	163
神岡	17	4	6	1	28
西仙北	23	5	15	1	44
中仙	27	9	10	1	47
協和	30	6	8	3	47
南外	17	3	3	0	23
仙北	19	9	12	0	40
太田	17	4	11	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	266	63	91	7	427

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(4) 説明

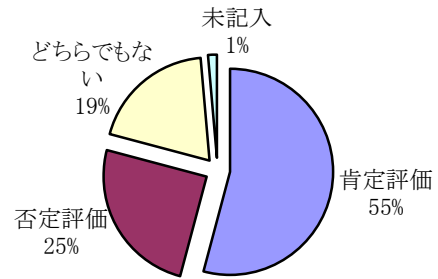
- ・年代別でみると、「60, 70歳代」の肯定評価が7割を超えています。
- ・地域別では、仙北地域のみが肯定評価が5割に達しておらず、否定評価も唯一2割を超えています。
- ・自由記載欄から、「記念品よりも少しでもお金の方がよい」「祝い金はもっと減らしても良いと思う」等の意見があります。

1-5. 温泉ふれあい入浴サービス事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	231	107	83	6	427

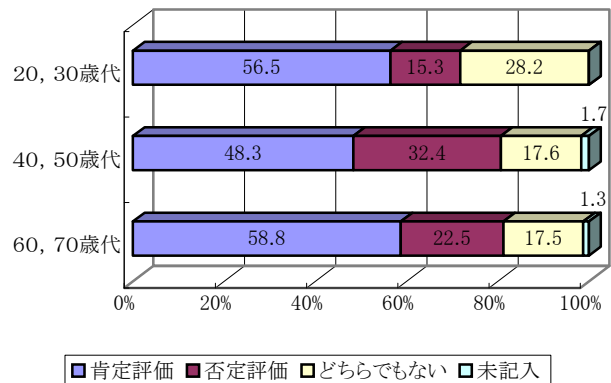
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	48	13	24	0	85
40, 50歳代	85	57	31	3	176
60, 70歳代	94	36	28	2	160
年齢未記入	4	1	0	1	6
計	231	107	83	6	427

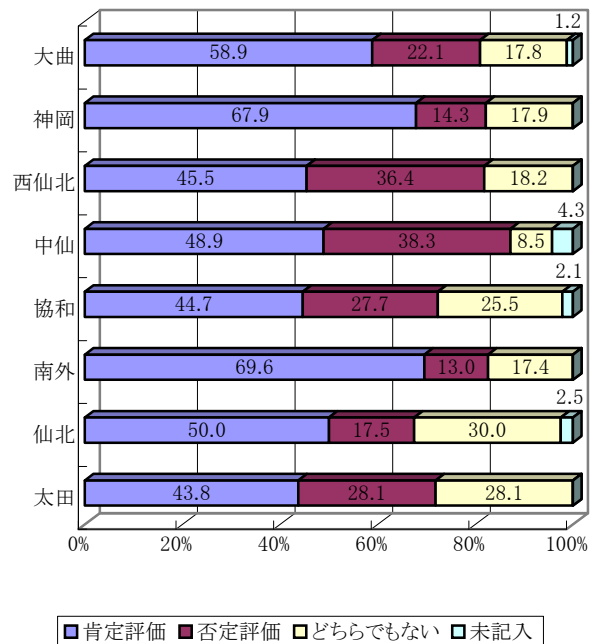
年代別状況(%)



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	96	36	29	2	163
神岡	19	4	5	0	28
西仙北	20	16	8	0	44
中仙	23	18	4	2	47
協和	21	13	12	1	47
南外	16	3	4	0	23
仙北	20	7	12	1	40
太田	14	9	9	0	32
地域未記入	2	1	0	0	3
計	231	107	83	6	427

地域別状況(%)



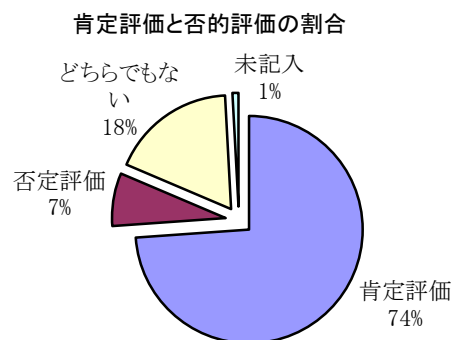
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が55%であります。否定評価が25%であります。
- ・年代別では、「40, 50歳代」で否定評価が3割を超えています。
- ・地域別では、西仙北、中仙の2地域で否定評価が3割を超えています。
- ・自由記載欄から、「サービス券をもらっても、温泉に行く手段が無くて利用できない人がたくさんいる。」「寝たきり老人に対し、入浴無料券は考えてもらいたい」「入浴サービス事業は行わなくてよい。もっと他の事に取り組んで欲しい」といった厳しい意見が多くあります。

2-1. 小中学校芸術鑑賞事業

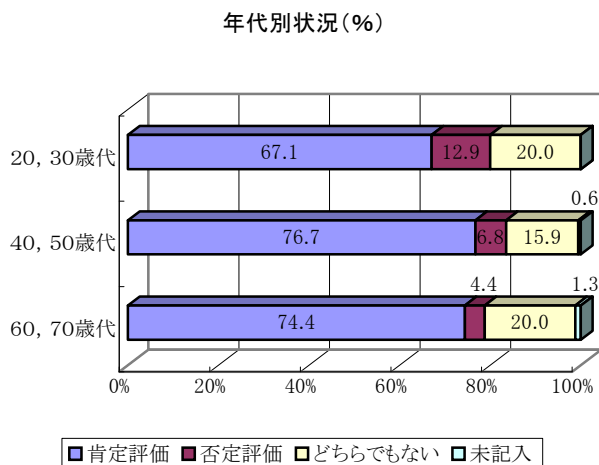
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	316	31	77	3	427



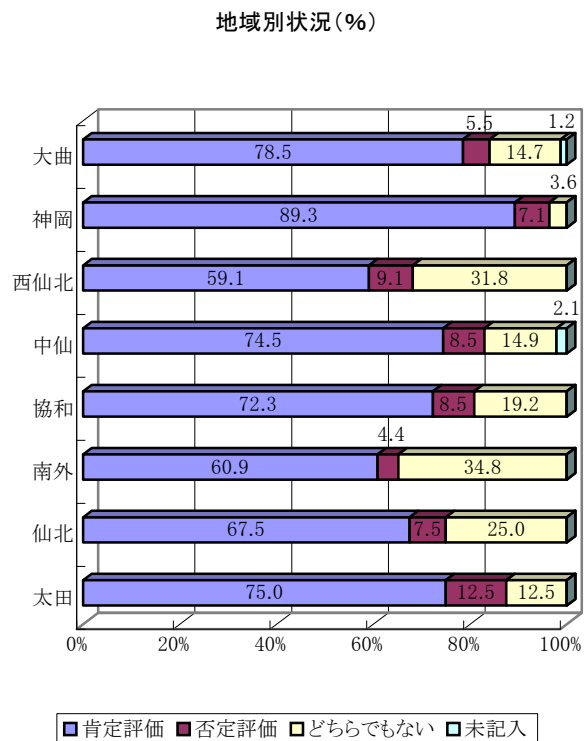
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	57	11	17	0	85
40, 50歳代	135	12	28	1	176
60, 70歳代	119	7	32	2	160
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	316	31	77	3	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	128	9	24	2	163
神岡	25	2	1	0	28
西仙北	26	4	14	0	44
中仙	35	4	7	1	47
協和	34	4	9	0	47
南外	14	1	8	0	23
仙北	27	3	10	0	40
太田	24	4	4	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	316	31	77	3	427



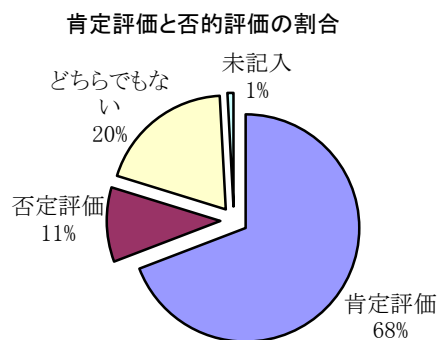
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が74%であります。否定評価は7%にすぎません。
- ・年代別では、神岡地域が肯定評価89.3%で最も高くなっています。
- ・自由記載欄から、肯定的意見として「子を人間性豊かな人として育成するために必要であり、今後も力を入れて欲しい」があります。

2-2. 体験的学習時間支援事業

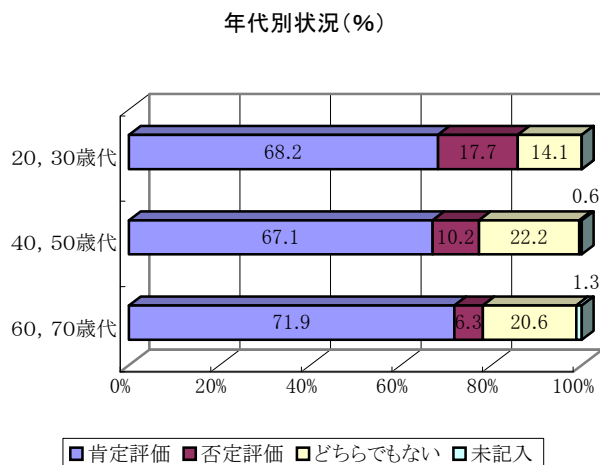
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	295	45	84	3	427



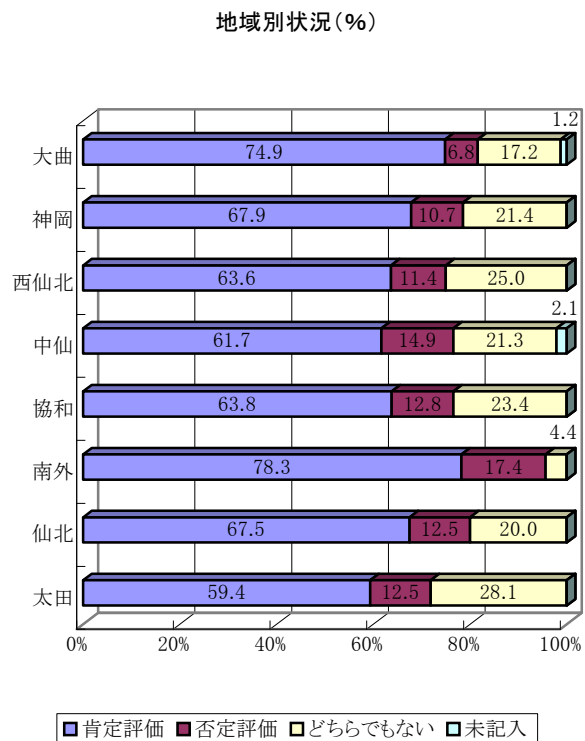
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	58	15	12	0	85
40, 50歳代	118	18	39	1	176
60, 70歳代	115	10	33	2	160
年齢未記入	4	2	0	0	6
計	295	45	84	3	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	122	11	28	2	163
神岡	19	3	6	0	28
西仙北	28	5	11	0	44
中仙	29	7	10	1	47
協和	30	6	11	0	47
南外	18	4	1	0	23
仙北	27	5	8	0	40
太田	19	4	9	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	295	45	84	3	427



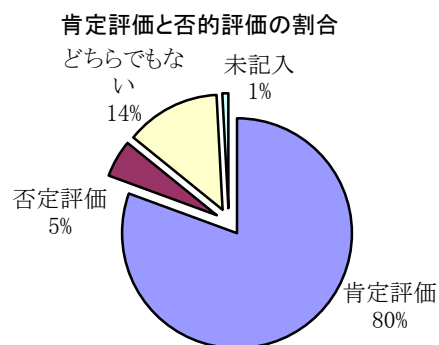
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が68%であります。
- ・年代別では、「20, 30歳代」で否定評価が約18%と一番高くなっています。
- ・地域別では、全地域でほぼ6割以上の肯定評価となっています。

2-3. 学校生活支援事業

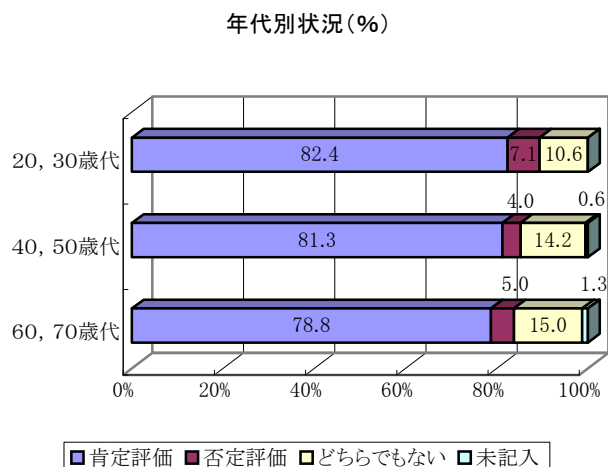
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	344	22	58	3	427



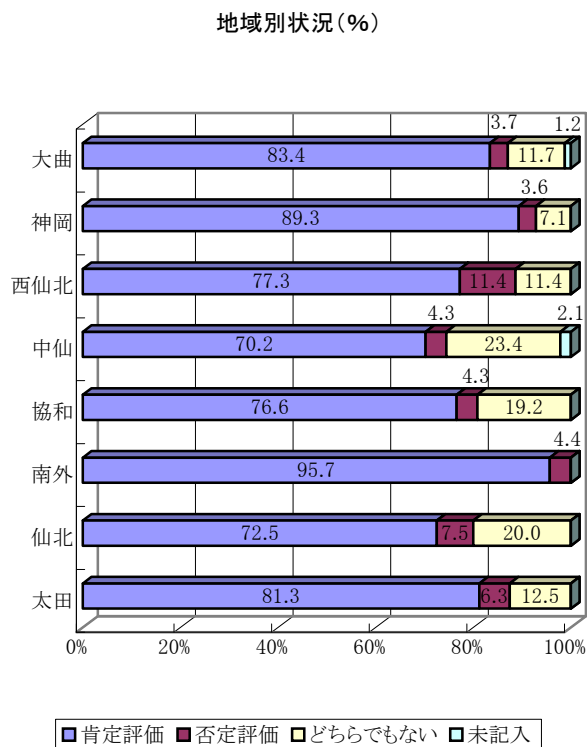
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	70	6	9	0	85
40, 50歳代	143	7	25	1	176
60, 70歳代	126	8	24	2	160
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	344	22	58	3	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	136	6	19	2	163
神岡	25	1	2	0	28
西仙北	34	5	5	0	44
中仙	33	2	11	1	47
協和	36	2	9	0	47
南外	22	1	0	0	23
仙北	29	3	8	0	40
太田	26	2	4	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	344	22	58	3	427



(4) 説明

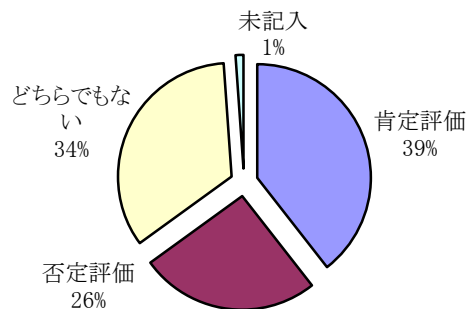
- ・全体で肯定評価が80%に達しています。否定評価は5%にすぎません。
- ・年代別では、全年代でほぼ同率の肯定評価を得ています。
- ・地域別では、全地域で肯定評価が7割を超えています。

3-1. 集落営農法人化推進事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	169	109	144	5	427

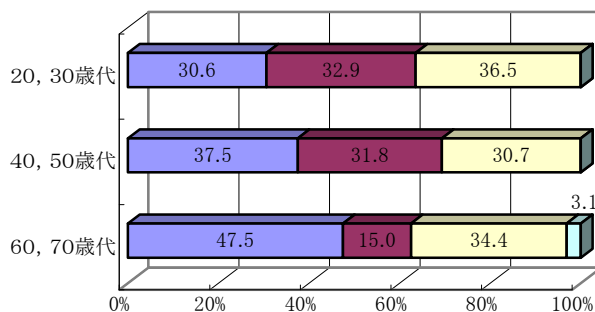
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	26	28	31	0	85
40, 50歳代	66	56	54	0	176
60, 70歳代	76	24	55	5	160
年齢未記入	1	1	4	0	6
計	169	109	144	5	427

年代別状況(%)

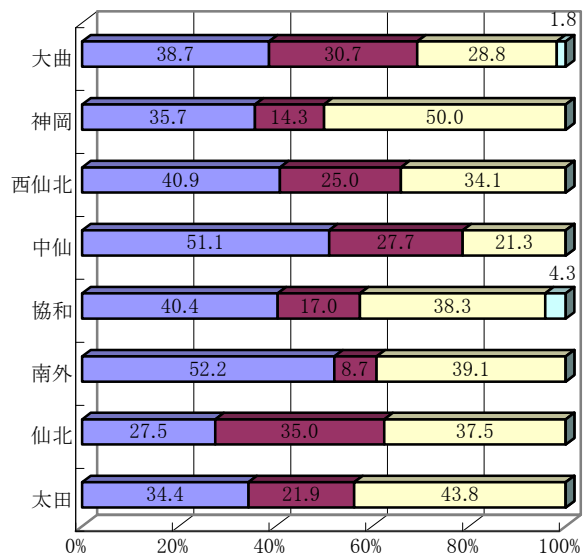


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	63	50	47	3	163
神岡	10	4	14	0	28
西仙北	18	11	15	0	44
中仙	24	13	10	0	47
協和	19	8	18	2	47
南外	12	2	9	0	23
仙北	11	14	15	0	40
太田	11	7	14	0	32
地域未記入	1	0	2	0	3
計	169	109	144	5	427

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(4) 説明

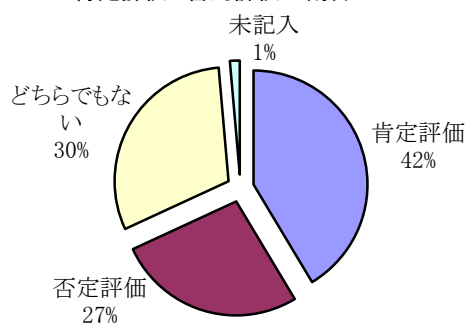
- ・全体で肯定評価が4割に達していません。
- ・年代別では、年代が下がるにつれ肯定評価の割合が低下し、逆に否定評価の割合が上昇しています。
- ・地域別では、肯定評価が5割以上だったのは中仙地域のみとなっています。
- ・自由記載欄から、「早めに説明会等を開いてほしい」「何をどのように進めたら良いのか本当に分からない」等、法人化への不安が現れている意見があります。

3-2. 産地づくり推進事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	177	114	130	6	427

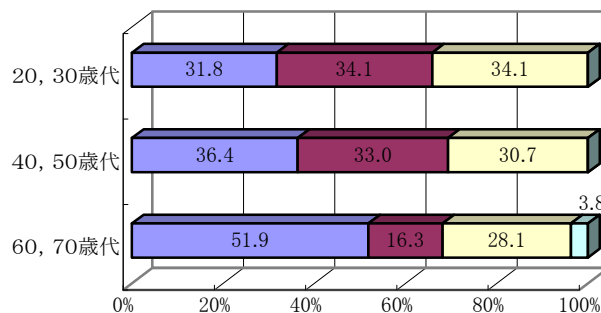
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	27	29	29	0	85
40, 50歳代	64	58	54	0	176
60, 70歳代	83	26	45	6	160
年齢未記入	3	1	2	0	6
計	177	114	130	6	427

年代別状況 (%)

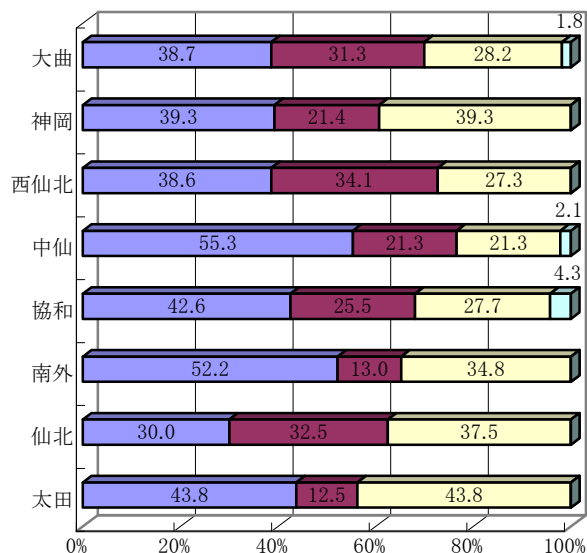


■肯定評価 ■否定評価 ■どちらでもない ■未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	63	51	46	3	163
神岡	11	6	11	0	28
西仙北	17	15	12	0	44
中仙	26	10	10	1	47
協和	20	12	13	2	47
南外	12	3	8	0	23
仙北	12	13	15	0	40
太田	14	4	14	0	32
地域未記入	2	0	1	0	3
計	177	114	130	6	427

地域別状況 (%)



■肯定評価 ■否定評価 ■どちらでもない ■未記入

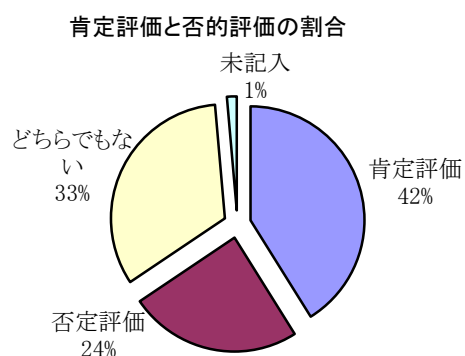
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が42%にとどまっています。否定評価が27%に上っています。
- ・年代別では、「60, 70歳代」で肯定評価が5割を超えているものの、他の年代では3割台となっています。
- ・地域別では、中仙、南外地域で肯定評価が5割を超えているものの、その他の地域は5割に達していません。

3-3. 畑作園芸振興事業

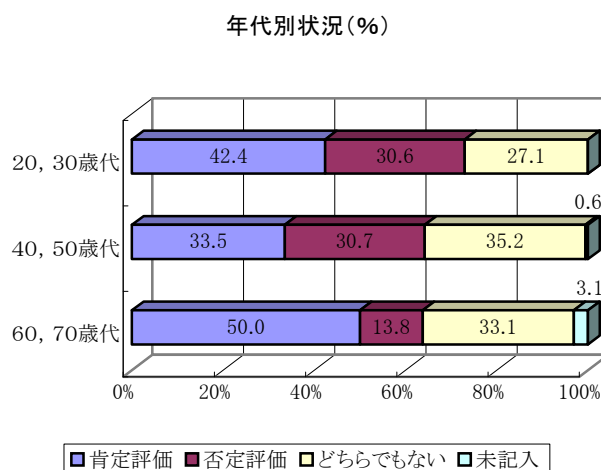
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	176	104	141	6	427



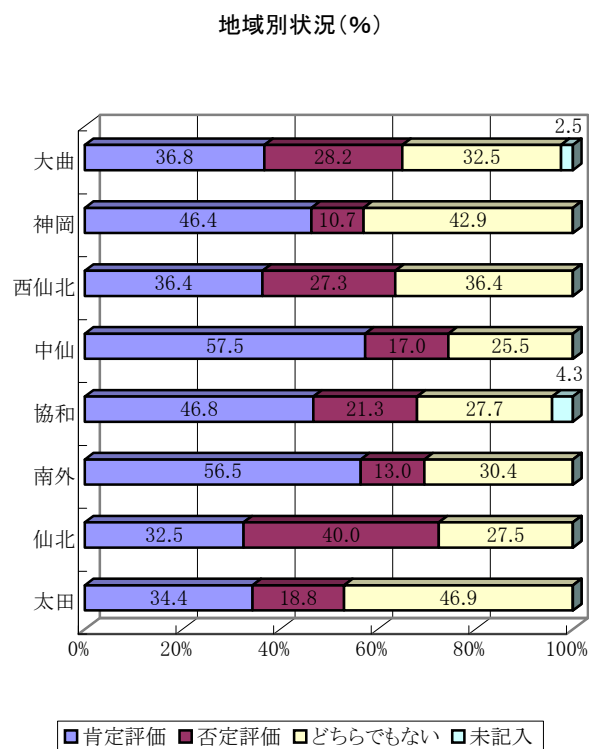
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	36	26	23	0	85
40, 50歳代	59	54	62	1	176
60, 70歳代	80	22	53	5	160
年齢未記入	1	2	3	0	6
計	176	104	141	6	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	60	46	53	4	163
神岡	13	3	12	0	28
西仙北	16	12	16	0	44
中仙	27	8	12	0	47
協和	22	10	13	2	47
南外	13	3	7	0	23
仙北	13	16	11	0	40
太田	11	6	15	0	32
地域未記入	1	0	2	0	3
計	176	104	141	6	427



(4) 説明

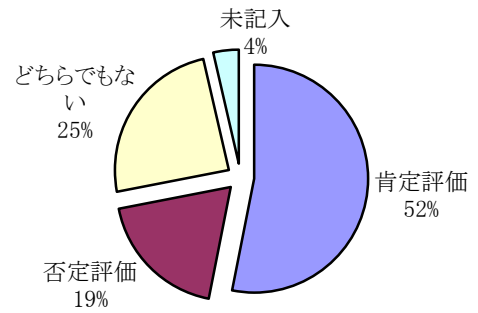
- ・全体で肯定評価が42%にとどまっています。
- ・年代別では、「20, 30歳代」及び「40, 50歳代」で否定評価が3割を超えています。
- ・地域別では、肯定評価が5割に達しているのは中仙、南外の2地域だけであり、仙北地域は否定評価が4割に達し他地域の否定評価の割合を大幅に上回っています。

3-4. 企業誘致振興対策費

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	226	81	105	15	427

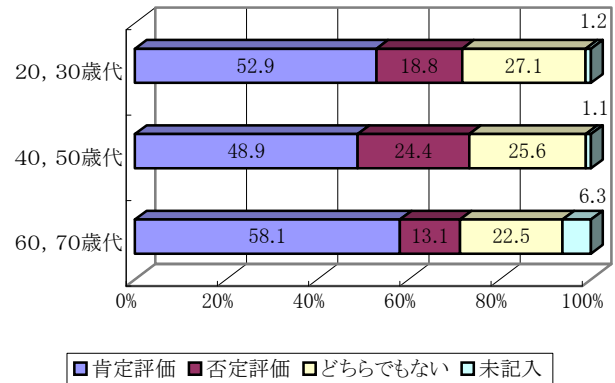
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	45	16	23	1	85
40, 50歳代	86	43	45	2	176
60, 70歳代	93	21	36	10	160
年齢未記入	2	1	1	2	6
計	226	81	105	15	427

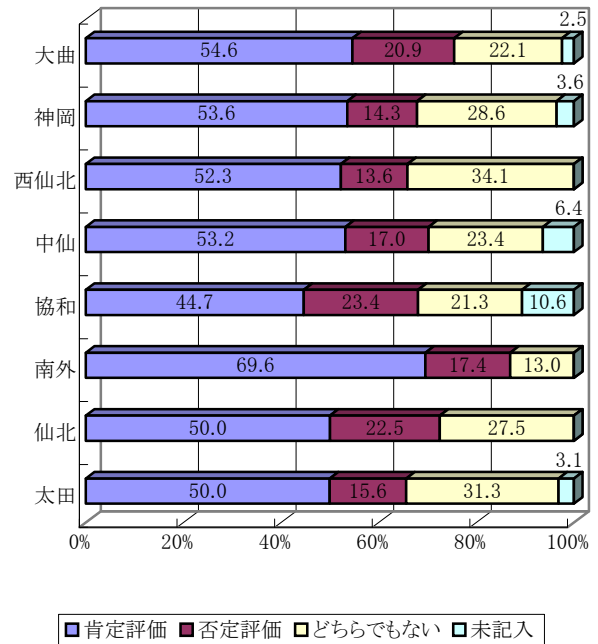
年代別状況 (%)



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	89	34	36	4	163
神岡	15	4	8	1	28
西仙北	23	6	15	0	44
中仙	25	8	11	3	47
協和	21	11	10	5	47
南外	16	4	3	0	23
仙北	20	9	11	0	40
太田	16	5	10	1	32
地域未記入	1	0	1	1	3
計	226	81	105	15	427

地域別状況 (%)



(4) 説明

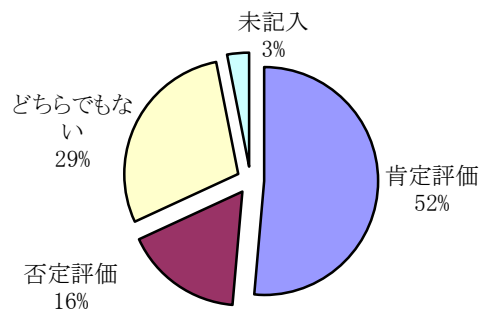
- ・年代別では、「40, 50歳代」で肯定評価が5割に達していません。
- ・地域別では、協和地域のみ肯定評価が5割に達していません。
- ・自由記載欄から、若者の雇用の場を求める意見が多くあります。

3-5. 観光ガイドボード（案内看板）事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	220	70	124	13	427

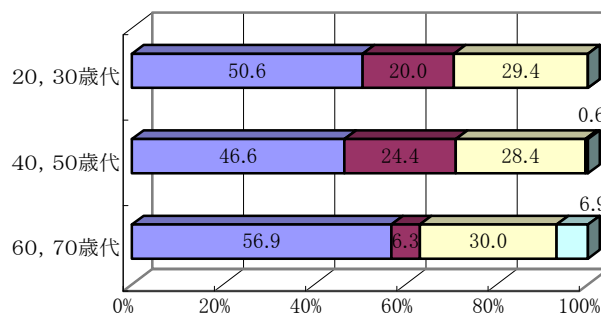
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	43	17	25	0	85
40, 50歳代	82	43	50	1	176
60, 70歳代	91	10	48	11	160
年齢未記入	4	0	1	1	6
計	220	70	124	13	427

年代別状況 (%)

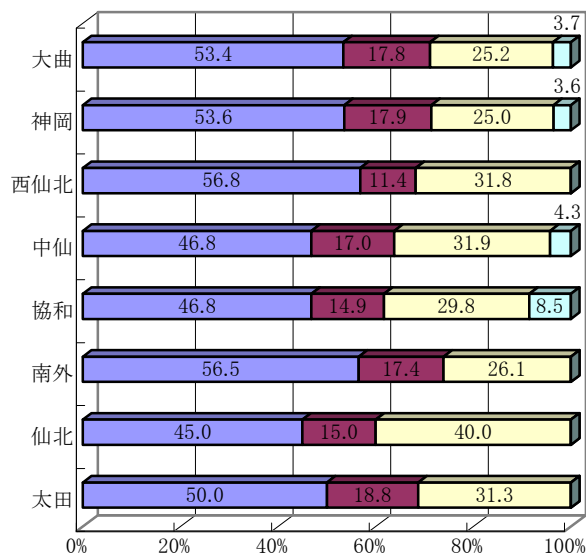


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	87	29	41	6	163
神岡	15	5	7	1	28
西仙北	25	5	14	0	44
中仙	22	8	15	2	47
協和	22	7	14	4	47
南外	13	4	6	0	23
仙北	18	6	16	0	40
太田	16	6	10	0	32
地域未記入	2	0	1	0	3
計	220	70	124	13	427

地域別状況 (%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(4) 説明

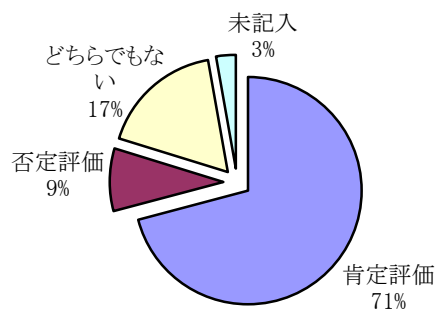
- ・全体で肯定評価が52%であります。
- ・年代別では、「40, 50歳代」の肯定評価が5割に達していません。
- ・自由記載欄から、市外の人にはもとより、市民に対しても他地域についてもっと知ることができるようパンフや広報の活用を望む意見があります。

4-1. 地域交通対策検討事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	303	38	74	12	427

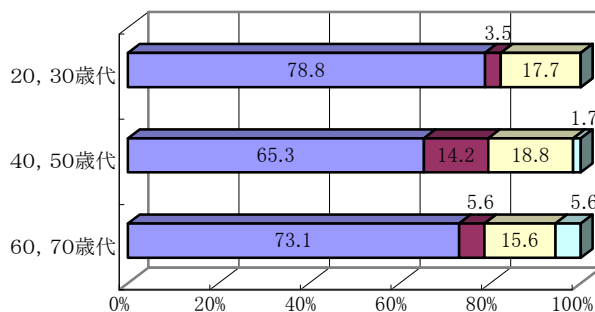
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	67	3	15	0	85
40, 50歳代	115	25	33	3	176
60, 70歳代	117	9	25	9	160
年齢未記入	4	1	1	0	6
計	303	38	74	12	427

年代別状況 (%)

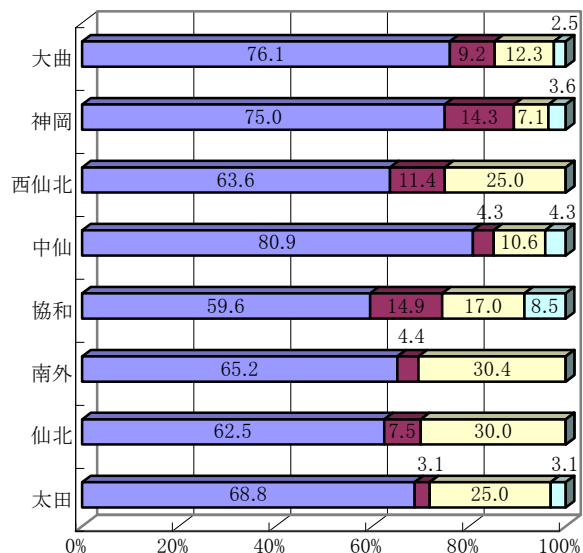


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	124	15	20	4	163
神岡	21	4	2	1	28
西仙北	28	5	11	0	44
中仙	38	2	5	2	47
協和	28	7	8	4	47
南外	15	1	7	0	23
仙北	25	3	12	0	40
太田	22	1	8	1	32
地域未記入	2	0	1	0	3
計	303	38	74	12	427

地域別状況 (%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(4) 説明

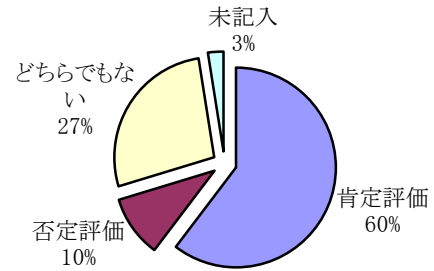
- ・全体で肯定評価が71%であります。
- ・年代別では、「20, 30歳代」が最も肯定評価の割合が高くなっています。
- ・地域別では、中仙地域で肯定評価が8割を超えています。

4-2. 地方道路交付金事業、地方特定道路整備事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	257	43	116	11	427

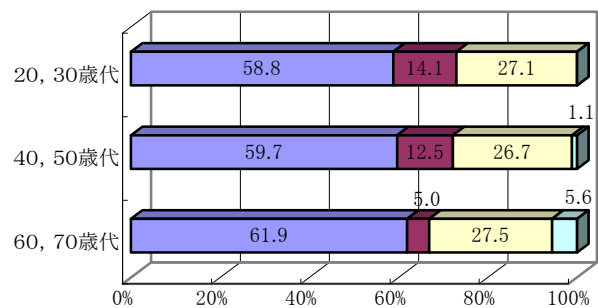
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	50	12	23	0	85
40, 50歳代	105	22	47	2	176
60, 70歳代	99	8	44	9	160
年齢未記入	3	1	2	0	6
計	257	43	116	11	427

年代別状況(%)

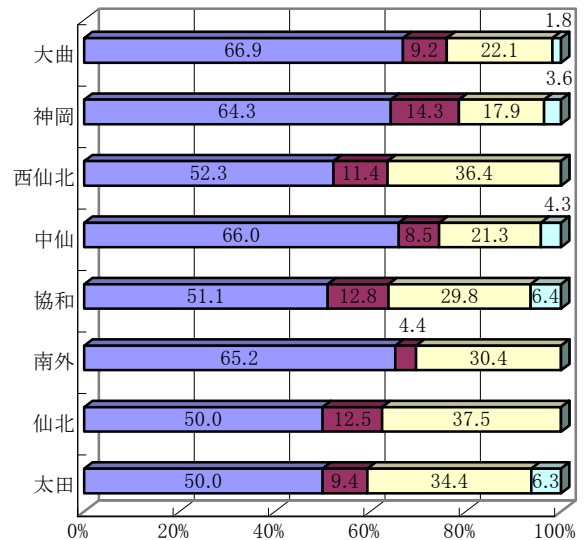


■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	109	15	36	3	163
神岡	18	4	5	1	28
西仙北	23	5	16	0	44
中仙	31	4	10	2	47
協和	24	6	14	3	47
南外	15	1	7	0	23
仙北	20	5	15	0	40
太田	16	3	11	2	32
地域未記入	1	0	2	0	3
計	257	43	116	11	427

地域別状況(%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

(4) 説明

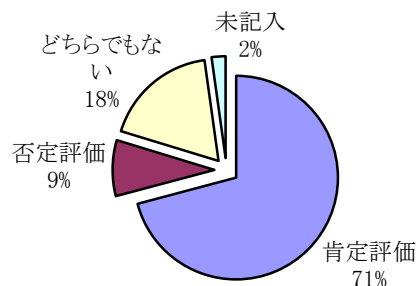
- ・全体で肯定評価は60%であります。
- ・年代別では、各年代とも肯定評価の割合がほぼ同じであります。
- ・地域別では、全地域で肯定評価が5割を超えています。

4-3. 道路新設改良事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	302	38	78	9	427

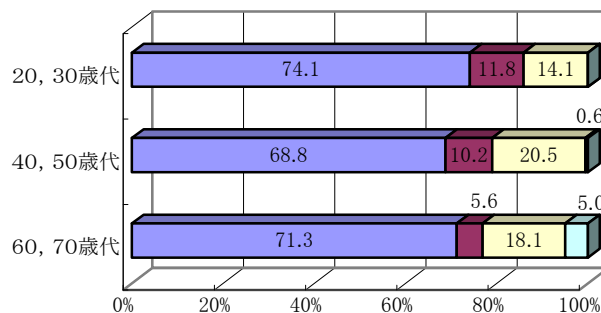
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	63	10	12	0	85
40, 50歳代	121	18	36	1	176
60, 70歳代	114	9	29	8	160
年齢未記入	4	1	1	0	6
計	302	38	78	9	427

年代別状況(%)

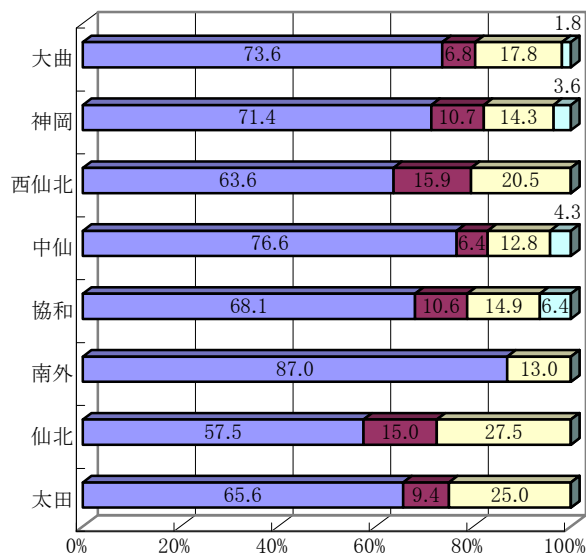


■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	120	11	29	3	163
神岡	20	3	4	1	28
西仙北	28	7	9	0	44
中仙	36	3	6	2	47
協和	32	5	7	3	47
南外	20	0	3	0	23
仙北	23	6	11	0	40
太田	21	3	8	0	32
地域未記入	2	0	1	0	3
計	302	38	78	9	427

地域別状況(%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 ■ どちらでもない ■ 未記入

(4) 説明

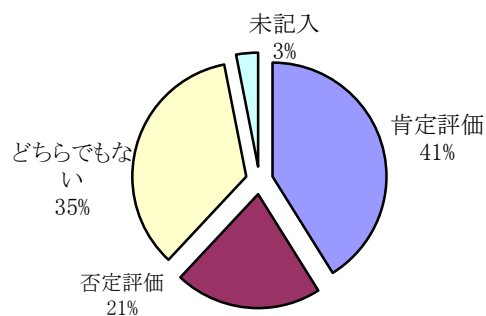
- ・全体で肯定評価が71%であります。
- ・年代別では、各年代で肯定評価が7割前後と高くなっています。
- ・地域別では、全地域とも肯定評価が5割を超えています。
- ・自由記載欄から、児童の通学路となっている道路の拡幅や除雪車が入れない道路の改良等、より生活に身近な道路整備を求める意見が多くあります。

4-4. 大曲駅前第二地区土地区画整理事業、住宅市街地総合整備事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	176	88	150	13	427

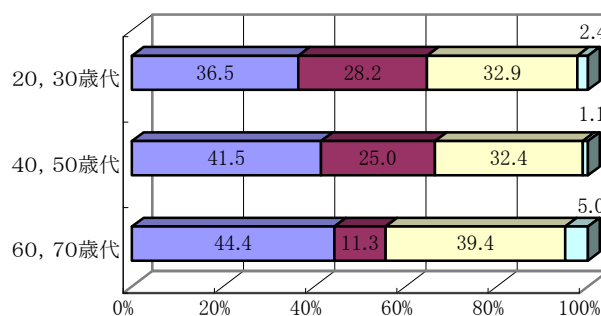
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	31	24	28	2	85
40, 50歳代	73	44	57	2	176
60, 70歳代	71	18	63	8	160
年齢未記入	1	2	2	1	6
計	176	88	150	13	427

年代別状況(%)

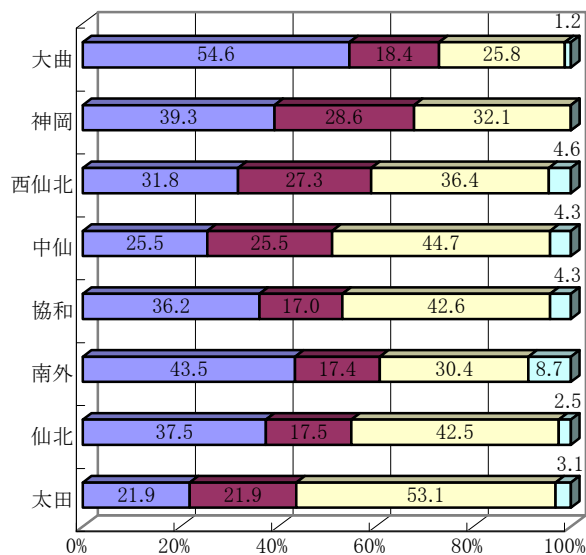


■肯定評価 ■否定評価 ■どちらでもない ■未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	89	30	42	2	163
神岡	11	8	9	0	28
西仙北	14	12	16	2	44
中仙	12	12	21	2	47
協和	17	8	20	2	47
南外	10	4	7	2	23
仙北	15	7	17	1	40
太田	7	7	17	1	32
地域未記入	1	0	1	1	3
計	176	88	150	13	427

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 ■どちらでもない ■未記入

(4) 説明

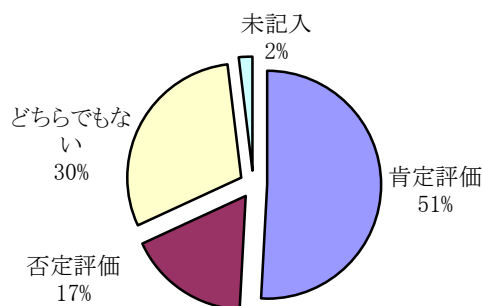
- ・全体で肯定評価は4割程度にとどまっています。
- ・地域別では、大曲地域以外は肯定評価の割合が5割に達していません。太田地域においては肯定評価が21.9%ですが、否定評価の割合が高い訳ではなく、「どちらでもない」の割合が5割を超えています。
- ・自由記載欄から、「駅前の市街地整備はもっと大幅な整備をしないと活性化できない。交通事情や商業面から再考が必要だと感じる」「有効に進められていない気がする」等、否定的な意見が多くあります。

4-5. まちづくり交付金事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	217	74	128	8	427

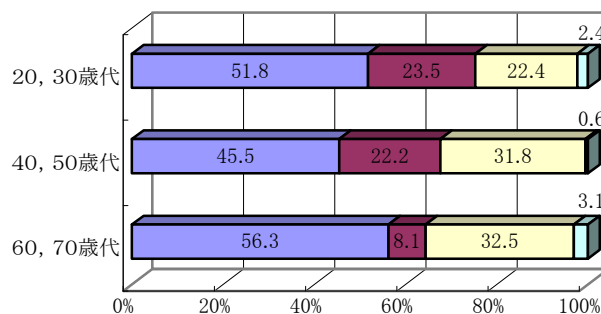
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	44	20	19	2	85
40, 50歳代	80	39	56	1	176
60, 70歳代	90	13	52	5	160
年齢未記入	3	2	1	0	6
計	217	74	128	8	427

年代別状況 (%)

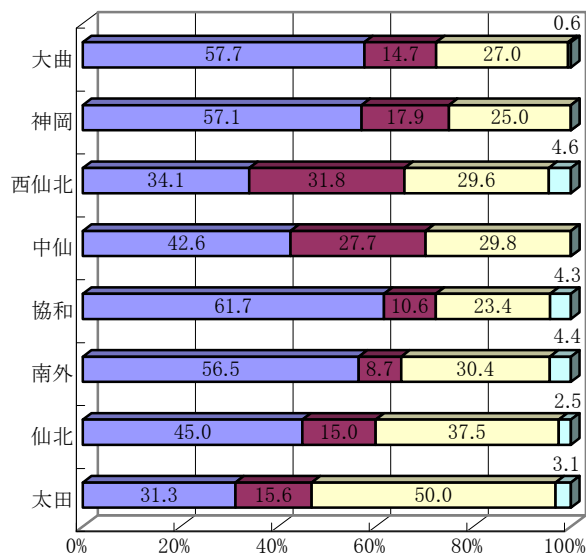


■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	94	24	44	1	163
神岡	16	5	7	0	28
西仙北	15	14	13	2	44
中仙	20	13	14	0	47
協和	29	5	11	2	47
南外	13	2	7	1	23
仙北	18	6	15	1	40
太田	10	5	16	1	32
地域未記入	2	0	1	0	3
計	217	74	128	8	427

地域別状況 (%)



■肯定評価 ■否定評価 □どちらでもない □未記入

(4) 説明

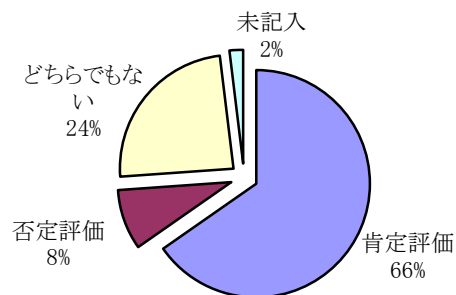
- ・全体で肯定評価が51%であります。「どちらでもない」が3割に達しています。
- ・地域別では、西仙北と太田地域で肯定評価が3割台にとどまっています。太田地域においては「どちらでもない」が5割を占めており、西仙北地域は否定評価が3割を超えています。
- ・自由記載欄から、駅を中心としたまちづくりを求める意見があります。

4-6. 水道事業、簡易水道事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	279	36	104	8	427

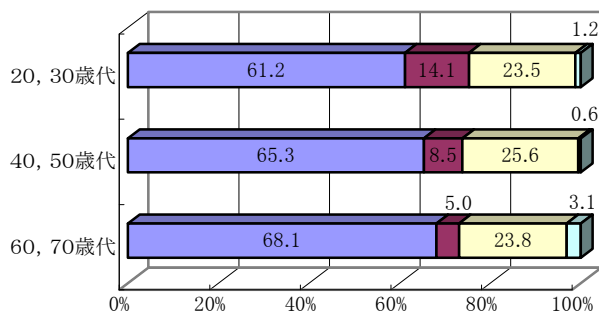
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	52	12	20	1	85
40, 50歳代	115	15	45	1	176
60, 70歳代	109	8	38	5	160
年齢未記入	3	1	1	1	6
計	279	36	104	8	427

年代別状況(%)

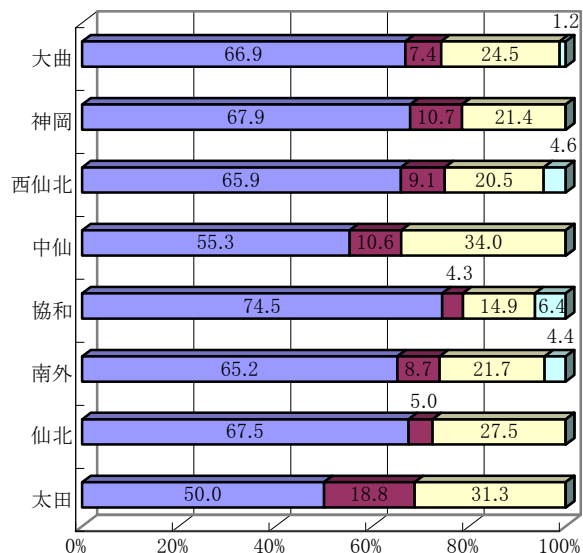


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	109	12	40	2	163
神岡	19	3	6	0	28
西仙北	29	4	9	2	44
中仙	26	5	16	0	47
協和	35	2	7	3	47
南外	15	2	5	1	23
仙北	27	2	11	0	40
太田	16	6	10	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	279	36	104	8	427

地域別状況(%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

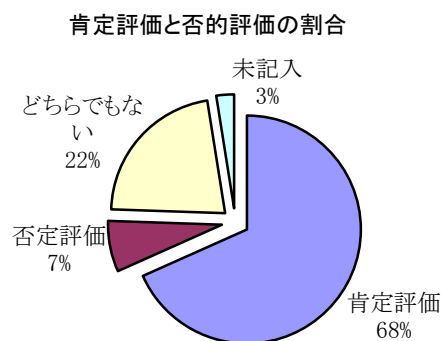
(4) 説明

- ・全体で肯定評価は66%であります。
- ・年代別では、各年代で肯定評価が60%を超えていますが、「20, 30歳代」で否定評価約14%であり、他の年代と比べ大幅に高くなっています。
- ・地域別では、太田地域で否定評価が約19%で、他地域と比べ高くなっています。

4-7. 公共下水道整備事業、農業集落排水事業、浄化槽設置事業等

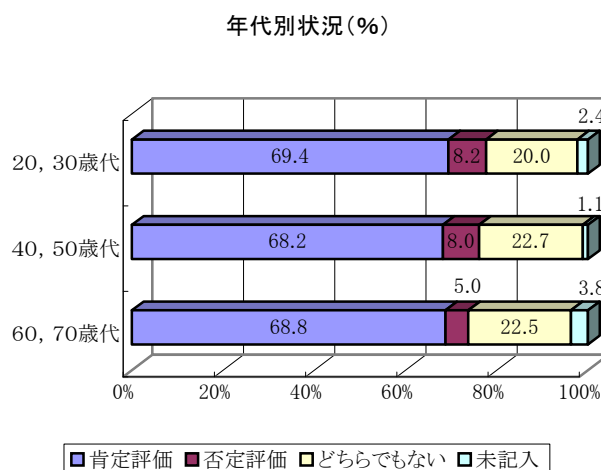
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	292	31	93	11	427



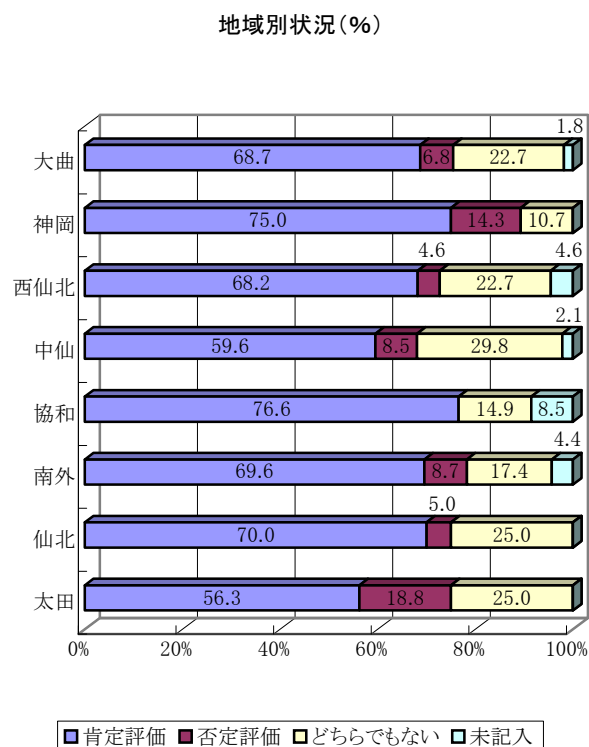
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	59	7	17	2	85
40, 50歳代	120	14	40	2	176
60, 70歳代	110	8	36	6	160
年齢未記入	3	2	0	1	6
計	292	31	93	11	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	112	11	37	3	163
神岡	21	4	3	0	28
西仙北	30	2	10	2	44
中仙	28	4	14	1	47
協和	36	0	7	4	47
南外	16	2	4	1	23
仙北	28	2	10	0	40
太田	18	6	8	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	292	31	93	11	427



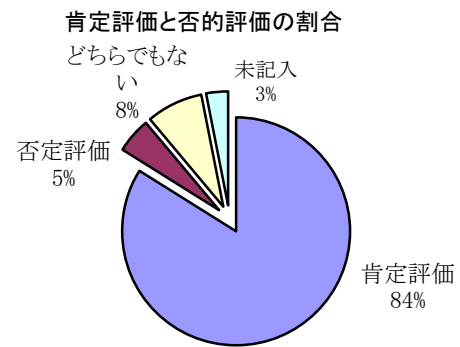
(4) 説明

- ・年代別では、各年代とも似かよった割合となっています。
- ・地域別では、太田、西仙北地域で否定評価の割合が高くなっています。
- ・自由記載欄から、「詳しい事業説明がない」「同じ地域内でも下水道が整備されている地区とされていない地区の落差が激しいので、解消してほしい」との意見があります。

5-1. ごみ収集事業

(1) 全体

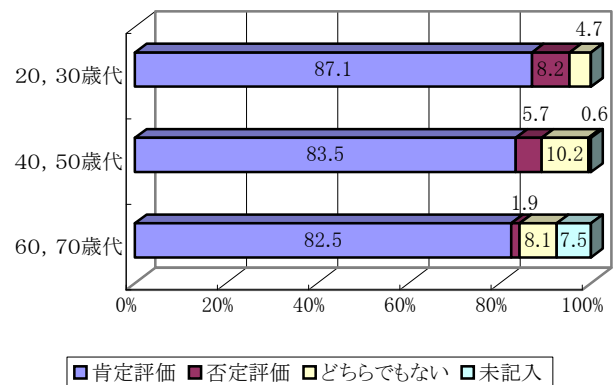
	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	358	21	35	13	427



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	74	7	4	0	85
40, 50歳代	147	10	18	1	176
60, 70歳代	132	3	13	12	160
年齢未記入	5	1	0	0	6
計	358	21	35	13	427

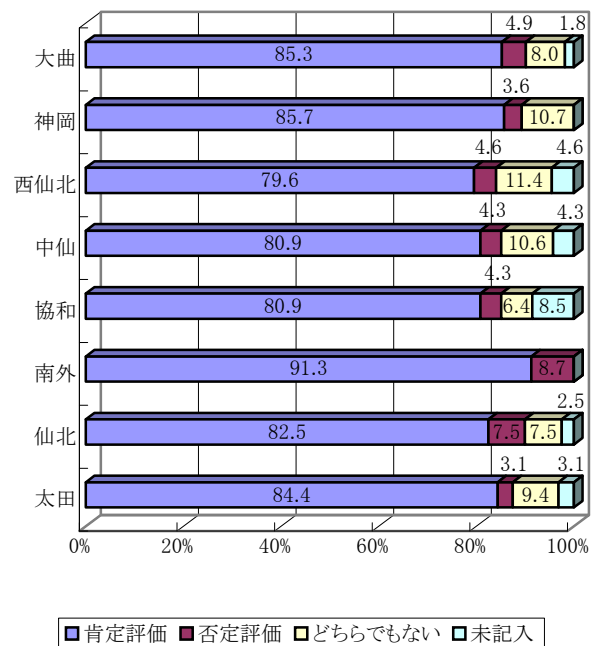
年代別状況(%)



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	139	8	13	3	163
神岡	24	1	3	0	28
西仙北	35	2	5	2	44
中仙	38	2	5	2	47
協和	38	2	3	4	47
南外	21	2	0	0	23
仙北	33	3	3	1	40
太田	27	1	3	1	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	358	21	35	13	427

地域別状況(%)



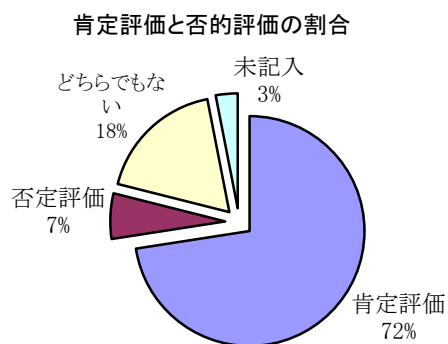
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が84%であり、否定評価は5%にすぎません。
- ・年代別では、全年代で8割以上の肯定評価を得ています。
- ・地域別でも、各地域においてほぼ8割以上の肯定評価を得ています。

5-2. 消防施設・設備整備事業

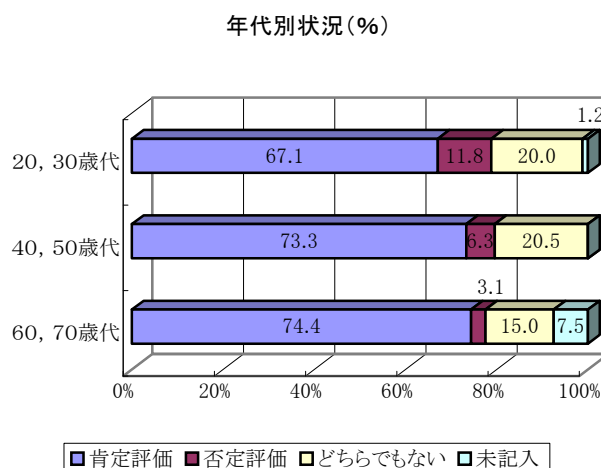
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	309	28	77	13	427



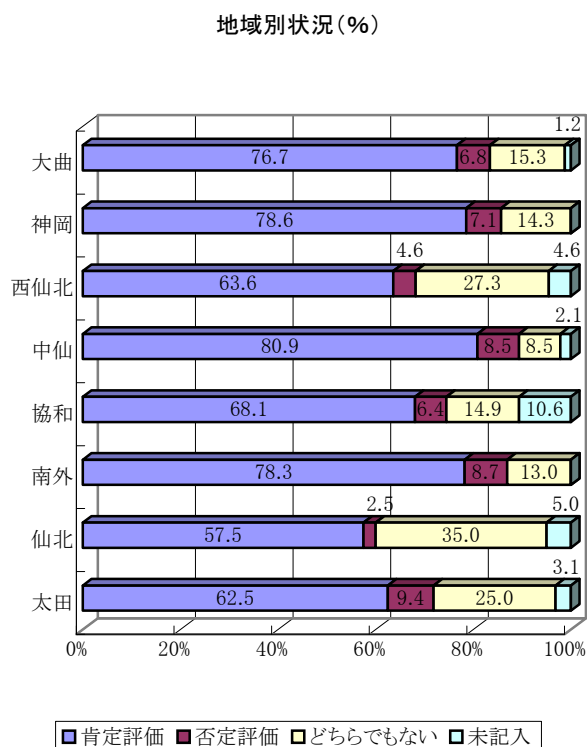
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	57	10	17	1	85
40, 50歳代	129	11	36	0	176
60, 70歳代	119	5	24	12	160
年齢未記入	4	2	0	0	6
計	309	28	77	13	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	125	11	25	2	163
神岡	22	2	4	0	28
西仙北	28	2	12	2	44
中仙	38	4	4	1	47
協和	32	3	7	5	47
南外	18	2	3	0	23
仙北	23	1	14	2	40
太田	20	3	8	1	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	309	28	77	13	427



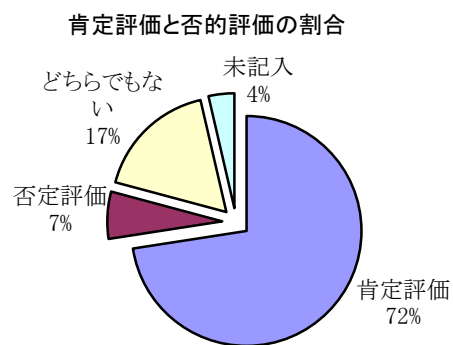
(4) 説明

- ・全体で肯定評価が72%であります。
- ・地域別では、中仙地域で肯定評価が8割を超えています。
- ・自由記載欄から、「防火水槽が無ないのでつけてほしい」「大規模災害に備えた災害無線等の設置があればいい」というような要望があります。

6-1. 移動通信用鉄塔施設整備事業

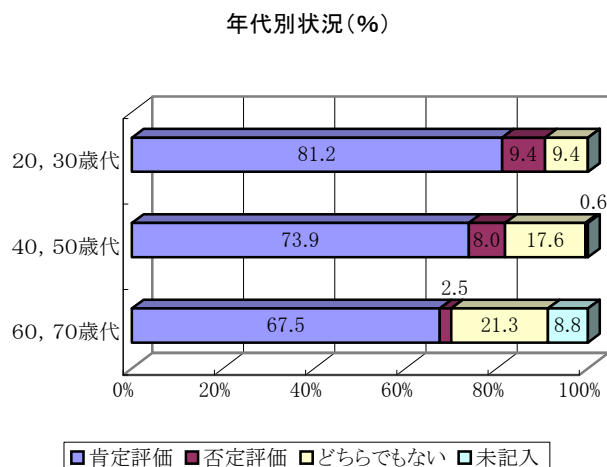
(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	310	28	73	16	427



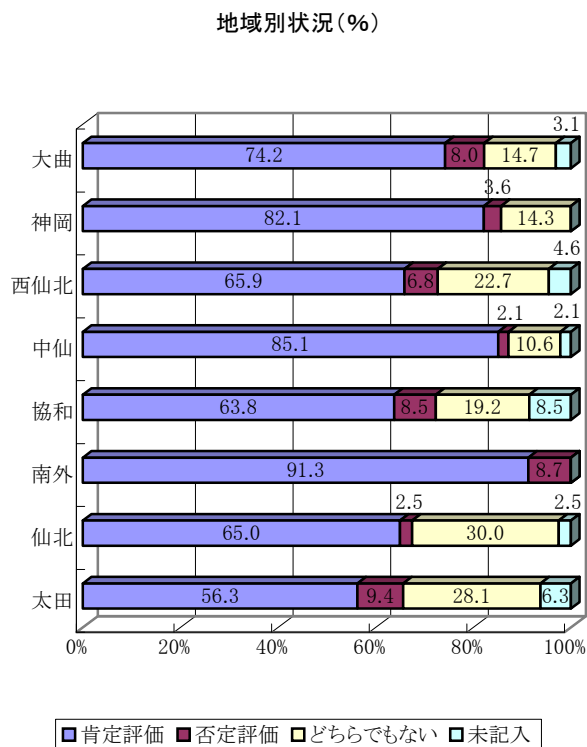
(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	69	8	8	0	85
40, 50歳代	130	14	31	1	176
60, 70歳代	108	4	34	14	160
年齢未記入	3	2	0	1	6
計	310	28	73	16	427



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	121	13	24	5	163
神岡	23	1	4	0	28
西仙北	29	3	10	2	44
中仙	40	1	5	1	47
協和	30	4	9	4	47
南外	21	2	0	0	23
仙北	26	1	12	1	40
太田	18	3	9	2	32
地域未記入	2	0	0	1	3
計	310	28	73	16	427



(4) 説明

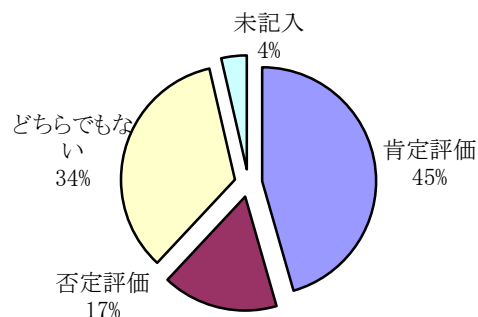
- ・全体で肯定評価が72%であります。
- ・年代別では、「20, 30歳代」で肯定評価が8割を超えています。
- ・自由記載欄から、「市の取り組みとして、どこでも携帯を使えるようにするというのはおかしい」という意見があります。

6-2. 男女共同参画推進事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	194	71	147	15	427

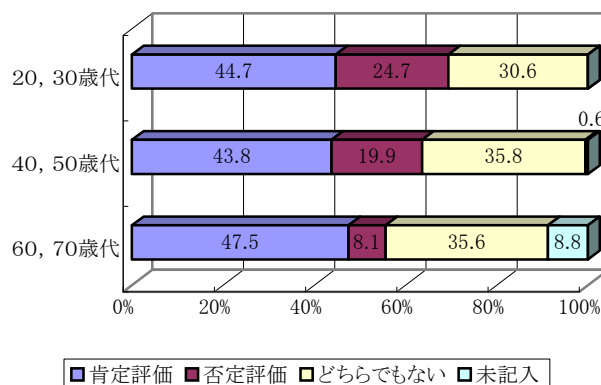
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	38	21	26	0	85
40, 50歳代	77	35	63	1	176
60, 70歳代	76	13	57	14	160
年齢未記入	3	2	1	0	6
計	194	71	147	15	427

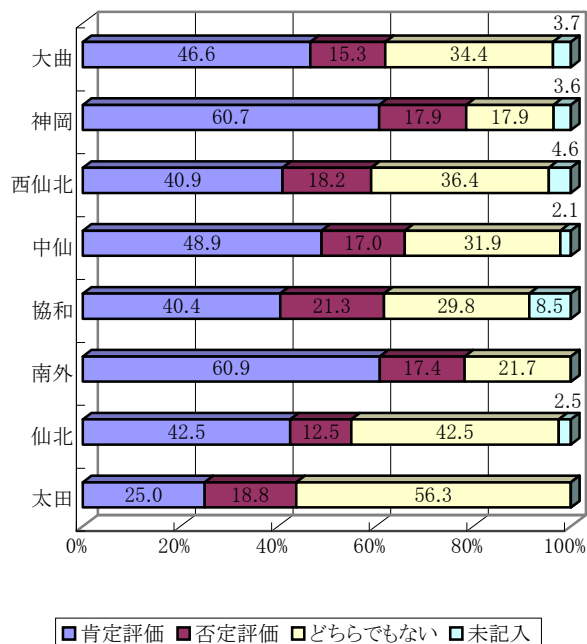
年代別状況 (%)



(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	76	25	56	6	163
神岡	17	5	5	1	28
西仙北	18	8	16	2	44
中仙	23	8	15	1	47
協和	19	10	14	4	47
南外	14	4	5	0	23
仙北	17	5	17	1	40
太田	8	6	18	0	32
地域未記入	2	0	1	0	3
計	194	71	147	15	427

地域別状況 (%)



(4) 説明

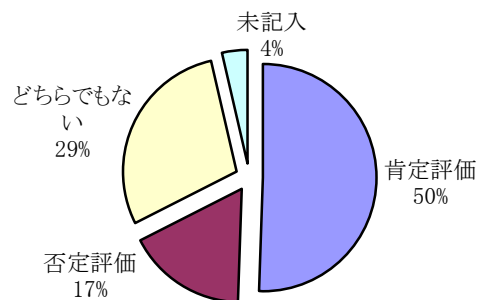
- ・全体で肯定評価が45%にとどまっています。「どちらでもない」が否定評価の2倍あり、否定的というよりは、効果的かどうか評価できないでいることが影響していると思われます。
- ・地域別では、各地域ごとに非常にばらつきのある結果となっています。

7-1. 地域振興（地域枠）事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	216	72	123	16	427

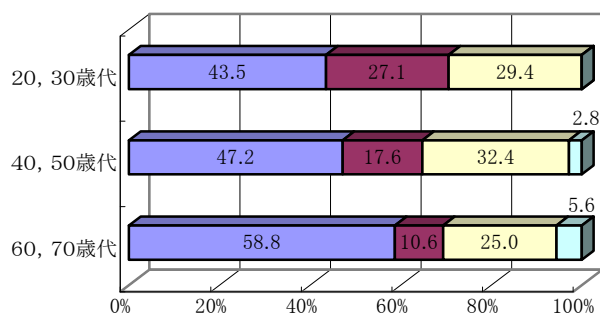
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	37	23	25	0	85
40, 50歳代	83	31	57	5	176
60, 70歳代	94	17	40	9	160
年齢未記入	2	1	1	2	6
計	216	72	123	16	427

年代別状況(%)

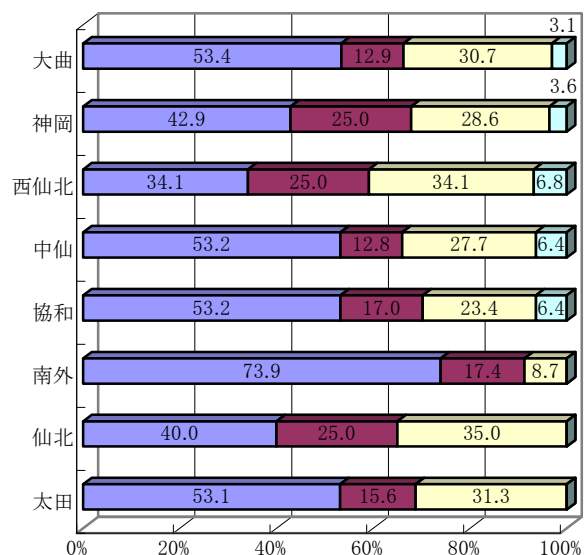


■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	87	21	50	5	163
神岡	12	7	8	1	28
西仙北	15	11	15	3	44
中仙	25	6	13	3	47
協和	25	8	11	3	47
南外	17	4	2	0	23
仙北	16	10	14	0	40
太田	17	5	10	0	32
地域未記入	2	0	0	1	3
計	216	72	123	16	427

地域別状況(%)



■ 肯定評価 ■ 否定評価 □ どちらでもない □ 未記入

(4) 説明

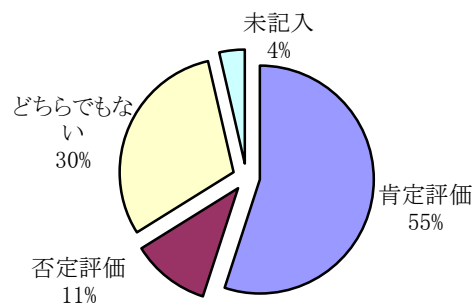
- ・年代別では、「60, 70歳代」で唯一肯定評価の割合が5割を超えています。年代が下がるにつれ肯定評価の割合も低くなっています。
- ・地域別では、西仙北地域が肯定評価約34%と唯一4割に達していません。

7-2. 自治会育成支援事業

(1) 全体

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
回答者数	235	47	129	16	427

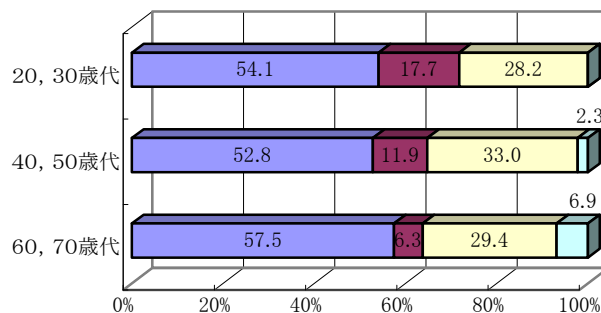
肯定評価と否定的評価の割合



(2) 年代別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
20, 30歳代	46	15	24	0	85
40, 50歳代	93	21	58	4	176
60, 70歳代	92	10	47	11	160
年齢未記入	4	1	0	1	6
計	235	47	129	16	427

年代別状況(%)

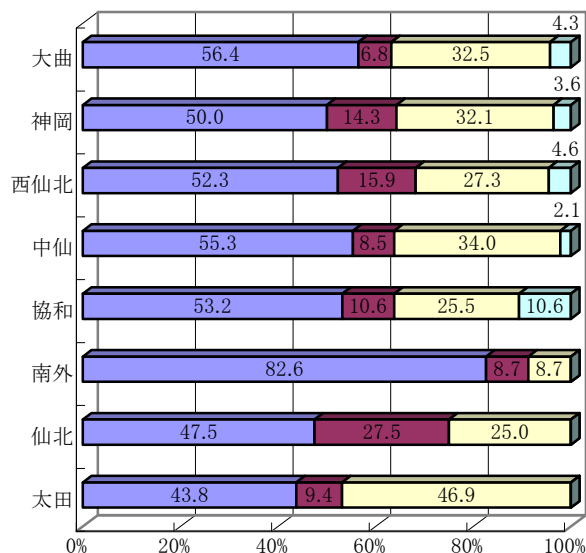


■肯定評価 ■否定評価 ■どちらでもない ■未記入

(3) 地域別

	肯定評価	否定評価	どちらでもない	未記入	計
大曲	92	11	53	7	163
神岡	14	4	9	1	28
西仙北	23	7	12	2	44
中仙	26	4	16	1	47
協和	25	5	12	5	47
南外	19	2	2	0	23
仙北	19	11	10	0	40
太田	14	3	15	0	32
地域未記入	3	0	0	0	3
計	235	47	129	16	427

地域別状況(%)



■肯定評価 ■否定評価 ■どちらでもない ■未記入


(4) 説明

- ・年代別では、各年代で似かよった評価となっています。
- ・地域別では、仙北と太田地域で肯定評価の割合が5割に達していません。南外地域が肯定評価82.6%と他地域に比べ高くなっています。

IV. まとめ

1. 現状の満足度について

「市民による市政評価」の眼目は、市が実施している施策、事業について市民のニーズとズレていないか、また改善すべき点があるかを明らかにすることです。今回のアンケートでは、現状の満足度について点数の高い順（満足度の高い順）に並べると次の表となります。



順位	分野	加重平均点	判定
1	5. 環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり(生活環境の分野)	4.030	A
2	4. 生活の基盤が整ったまちづくり(上下水道の分野)	3.768	A
3	1. 安心して健やかに暮らせるまちづくり(高齢者の分野)	3.767	A
4	2. 未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくり(教育の分野)	3.718	A
5	1. 安心して健やかに暮らせるまちづくり(乳幼児の分野)	3.708	A
6	6. 仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり(地域情報化・男女共同参画の分野)	3.617	A
7	4. 生活の基盤が整ったまちづくり(交通・道路の分野)	3.610	A
8	7. 計画の推進にあたって(市民自らの主体的な活動の支援の分野)	3.575	A
9	4. 生活の基盤が整ったまちづくり(駅周辺・まち交の分野)	3.458	B
10	3. 生き生きと希望を持って活躍できるまちづくり(農林振興の分野)	3.374	B
11	3. 生き生きと希望を持って活躍できるまちづくり(商工観光の分野)	3.297	B

※分野の最初の数字は、基本構想の分類を意味します。

○「環境と調和し快適で安全に暮らせるまちづくり(生活環境)」の分野

評価の構成比では、回答者全体の75%が肯定評価、否定評価は4%にすぎず、「どちらでもない」が16%となっています。全分野の中で一番高い評価を得ています。生活及び生命に直結する分野だけに、市民の関心も高いものと思われます。

自由記載欄には、更なる安全、災害対策を求める声があり、より安全安心に暮らせる環境整備に努めていく必要があります。

○「生活の基盤が整ったまちづくり(上下水道)」の分野

評価の構成比では、回答者全体の64%が肯定評価、10%が否定評価、22%が「どちらでもない」であります。地域別では、太田地域で肯定評価が43.8%と唯一50%に達していません。

自由記載欄には、地域間又は同地域内の地区間で整備状況に差が出ているため、平等に整備を願うなどの意見がありました。

○「安心して健やかに暮らせるまちづくり(高齢者)」の分野

評価の構成比では、回答者全体の 67 %が肯定評価、10 %が否定評価、22 %が「どちらでもない」であります。年代別では、「60, 70 歳代」が 76.3 %の肯定評価であり最も高くなっています。「40, 50 歳代」及び「20, 30 歳代」は、「どちらでもない」とする回答が大幅に増えています。まだまだ事業の対象年齢とならないため関心が薄いことによるものと思われませんが、現実の長寿社会の様々な問題に対応していくためには、若い世代を含め全体で取り組んでいく必要があります、若い世代の関心を高めていくことが課題といえます。

○「未来(あす)を創り心豊かな人を育むまちづくり(教育)」の分野

評価の構成比では、回答者全体の 59 %が肯定評価、8 %が否定評価、30 %が「どちらでもない」であります。年代別では、「60, 70 歳代」で肯定評価が 68.8 %と高い評価となっているものの、実際に小中学生の子を持つ親の年代では、「どちらでもない」が多く現状の施策展開に対して判断できないでいる人が多くいるものと思われま

す。体験的学習や芸術鑑賞は子供の人格形成に大きく関わるため、今後の更なる推進を求める意見や家庭・地域・学校が一体となって道徳教育に取り組んでいかなければならないといった人格形成に関わる取り組みに力を入れる事を望む意見が多くありました。

○「安心して健やかに暮らせるまちづくり(乳幼児)」の分野

評価の構成比では、回答者全体の 61 %が肯定評価、11 %が否定評価、22 %が「どちらでもない」であり、市独自の施策展開に対して概ね評価を得ていると判断できます。しかしながら、市独自の所得制限に対しては不平等だとする意見や、少子化対策の観点からみて現行の施策は効果がないなどの意見もありました。

○「仲間とふれあいともに活躍できるまちづくり(地域情報化・男女共同参画)」の分野

評価の構成比では、回答者全体で肯定評価が 54 %、否定評価は 9 %にすぎませんが、「どちらでもない」が 32 %と高くあります。年代別、地域別では、非常にばらつきのある結果となっています。

男女共同参画社会の形成が求められている中、年代を問わず市民の関心を高め、より効果的に意識改革を図ることが必要であります。

○「生活の基盤が整ったまちづくり(交通・道路)」の分野

評価の構成比では、回答者全体の 59 %が肯定評価、14 %が否定評価、22 %が「どちらでもない」であり、概ね理解を得られていると思われま

す。年代別でも、全年代で 50 %以上の肯定評価となっています。地域別では 7 地域で 50 %以上の肯定評価を得ていますが、西仙北地域のみ 40.1 %と低くなっています。

幹線道路の整備を市民が評価する一方で、幹線道路沿いに大型店舗が建ち並ぶことで駅前空洞化を心配する意見や生活道路、通学路などより身近な道路の早期改良を望む意見がありました。

○「計画の推進にあたって(市民自らの主体的な活動の支援)」の分野

評価の構成比では、回答者全体で肯定評価が 50 %、否定評価は 6 %にすぎませんが、「どちらでもない」が 39 %と高く、施策内容や目的の理解が得られていないことが原因と考えられます。

市民と行政との協働のまちづくりを推進していくにあたり、市民に対し施策内容や目的を周知して市民の意識改革を図るとともに、市民がまちづくりに参加しやすい仕組みづくりに努めていくことが課題であります。

○「生活の基盤が整ったまちづくり(駅周辺・まち交)」の分野

評価の構成比では、回答者全体の 52 %が肯定評価、15 %が否定評価、30 %が「どちらでもない」であり、半数以上が肯定評価となっています。しかしながら地域別では、肯定評価が 50 %を超えているのはわずか 3 地域にとどまっており、また事業の対象地域外では「どちらでもない」の割合が非常に高くなっていることから、事業の対象地域外での関心の低さがうかがえます。

駅前の区画整理事業に対しては、事業開始から 15 年以上が経ち、この先も完了まで数年かかる予定であるため、先が見えずまた完了後の全体像が見えないなど否定的な意見がありました。現在は、幹線道路沿いへの大型店舗出店による市街地の空洞化が進み、事業開始当初と大きく状況が変化しています。そのような状況でも施策を進めていく必要性と、商店街を含めた駅周辺の将来像を市民に説明していくことが課題であります。

○「生き活きと希望を持って活躍できるまちづくり(農業振興)」の分野

評価の構成比では、回答者全体の 40 %が肯定評価、14 %が否定評価、42 %が「どちらでもない」であり、現状を評価できない人の割合が高くなっています。

その要因としては、ほとんどの農業施策が生産者を受益者とした施策であることから、消費者としての市民は、施策が効果的なものかどうか判断できないことが考えられます。

農業は当市の主要な産業と位置づけていることから、農業振興のため生産者側に重点を置いた施策展開を行う一方で、全市民から農業振興の重要性に対し理解を得られるように努めるとともに、今後は消費者としての市民を巻き込み、生産者と消費者が一体となった施策を取り入れるなど、全体から支持される農業施策を展開していく必要があります。

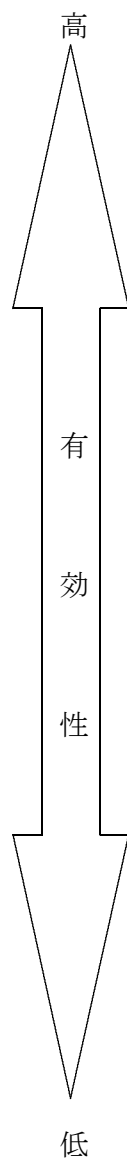
○「生き活きと希望を持って活躍できるまちづくり(商工観光)」の分野

評価の構成比では、回答者全体の 43 %が肯定評価、20 %が否定評価、33 %が「どちらでもない」となっており、現状への肯定評価が 5 割に達していません。自由記載欄には、若者の県外流出を減らすため、若者の働ける場の環境整備を願う意見が多くありました。

市民が若者の県外流出を、人口減少や少子高齢化など市が抱える多くの問題に共通する要因の一つと捉え、高い関心と危機感を持っています。その打開策として若者の働く環境整備による定住促進に期待しており、施策効果への期待と現状とのギャップが低評価に繋がっているものと考えられます。

2. 事業別の有効性について

評価の対象とした26の個別事業について点数の高い順（有効性の高い順）に並べると次の表となります。今回のアンケート結果では、Aランク18事業、Bランク8事業となっています。



順位	事業名	加重平均点	判定
1	5-1 ごみ収集事業	4.249	A
2	2-3 学校生活支援事業	4.179	A
3	1-3 地域児童健全育成推進事業	4.088	A
4	6-1 移動通信用鉄塔施設整備事業	4.027	A
5	2-1 小中学校芸術鑑賞事業	4.009	A
6	1-2 すこやか子育て手当金支給事業	4.007	A
7	5-2 消防施設・設備整備事業	4.000	A
8	4-1 地域交通対策検討事業	3.935	A
9	1-1 乳幼児、就学児（小児）医療費市独自助成事業	3.933	A
10	2-2 体験的学習時間支援事業	3.925	A
11	4-3 道路新設改良事業	3.904	A
12	4-7 公共下水道整備事業、農業集落排水事業、浄化槽設置事業等	3.882	A
13	4-6 水道事業、簡易水道事業	3.816	A
14	1-4 敬老の日事業	3.750	A
15	4-2 地方道路交付金事業、地方特定道路整備事業	3.685	A
16	7-2 自治会育成支援事業	3.625	A
17	3-4 企業誘致振興対策費	3.551	A
18	3-5 観光ガイドボード（案内看板）事業	3.517	A
19	7-1 地域振興（地域枠）事業	3.491	B
20	4-5 まちづくり交付金事業	3.484	B
21	1-5 温泉ふれあい入浴事業	3.463	B
22	6-2 男女共同参画推進事業	3.398	B
23	3-3 畑作園芸振興事業	3.292	B
24	4-4 大曲駅前第二地区土地区画整理事業、住宅市街地総合整備事業	3.290	B
25	3-1 集落営農法人化推進事業	3.256	B
26	3-2 産地づくり推進事業	3.252	B

※事業名の最初の数字は基本構想の分類を意味し、次は分類別アンケートの順番です。

有効性の高いものは、「ごみ収集事業」にはじまり乳幼児、学校関係など全般的に生活に関わる身近な事業や次代を担う子どもの育成事業であることなど、比較的に実感しやすい事業となっています。年代的には、若い年代で高く、高齢の年代で低い傾向にありますが、「地域児童健全育成推進事業」について40、50歳代が高いのは、児童の虐待などについて地域として見守っていくことの必要性と有効性を感じているからとおもわれます。

有効性の低いものは、「産地づくり推進事業」にはじまり農業振興関係や駅周辺整備・まち交関係事業があります。農業振興関係については、「どちらでもない」が回答の約1/3を占めるなど、農業制度の複雑さや生産者側と消費者側の両方で成果を実感ないため低くなっていると思われます。

商工関係の判定は、事業別が「A」で、満足度が「B」であることから、事業の有効性が住民の満足度に一朝一夕に反映されないことが考えられ、市民の意見を採り入れながらねばり強く満足度を上げていく必要があります。

交通・道路関係及び上下水道関係は、合併前の状況に格差があったため各地域間や地域内の地区間で整備状況に格差がありますが、それについて解消を求める市民の意見があります。厳しい財政事情を勘案しながらも、地域間で格差のない事業展開を進めていくことが課題です。

全体として、目的や制度の伝達が複雑な事業ほど評価が低い傾向があり、また成果が実感しやすい事業ほど評価が高くなっています。そのため通常のPRのみならず、現状の問題点や将来課題などの資料やデータに基づいた行政側の説明技術の強化と施策による将来像や施策効果を市民に明示し、市民への判断材料を提供できるかが課題であります。

3. 今後の活用について

本調査の回答者は、無作為に抽出した市民であり、それぞれの施策や事業の受益者を限定した調査ではないため、「内容がわからない」とする意見が寄せられました。

また、評価のための十分なデータが与えられず、雰囲気的な感想を「評価」とすることに懸念を示す意見も寄せられました。

行政の説明技術の向上や市民との情報の共有のあり方が課題ではありますが、「わからない」とする回答も含め、施策、事業に対する市民全体の平均的な受け止め方を反映しているものと考えています。

今後回答をいただいた427人の内、同意を得られた391人に対し同じ内容でアンケートを行ない、満足度や有効性の変化について調査します。

評価は改善のための道具であり、結果を受けた改善策の検討が必要であります。今回の調査結果を担当課にフィードバックし、より市民に納得される内容での事業執行に努力していきます。